

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 1 月 6 日(水) 10 時 00 分～10 時 30 分
場 所	知事応接室
出 席 者	知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総政部長、保福部長、 観光振興監、総務部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発 言 者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国において、明日、1 都 3 県の首都圏を対象に、1 月 8 日から 2 月 7 日まで、緊急事態宣言が発令される見込み。要請内容は、不要不急の外出・移動自粛、特に 20 時以降の徹底、飲食店に対する 20 時までの営業時間の短縮、テレワーク等による出勤者数の 7 割削減、イベントの開催制限の 4 本柱。（総政） ○ 厳しい感染状況、医療提供体制にある首都圏を訪問することによって、その地域の医療への負荷の増加を避け、また、国内における感染の伝播を防がなければならない。 ● 道民の皆様に対しては、これまで「感染リスクを回避できない場合の往来自粛」をお願いしてきた。緊急事態宣言の発令を踏まえると、宣言対象地域との間では「感染リスクを回避できない場合」という条件を付けない往来の自粛の要請が必要ではないか。専門家等の意見を伺うこととした。（総政） ○ 既に、1 都 3 県が緊急事態行動として住民に呼びかけを行っており、また、国に対しても要請を行っている状況。改めて、職員の出張等について注意喚起を行ってほしい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年1月7日(木) 14時00分～14時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総政部長、経済部長、観光振興監、総務部長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議し、追加対策などについて本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国の緊急事態宣言の発令に伴う往来自粛の要請については、専門家等から妥当との意見をいただいた。経済団体からは、経済への影響軽減のための対策を実施すべきといった意見も寄せられた。 ● 原案どおり、本部会議で協議することとしたい。(以上、総政) ○ これまでより、もう一段強い要請となる。道民の皆さんのご理解、ご協力を得られるようあらゆる機会を捉え、周知に取り組んでほしい。 ○ 首都圏の感染拡大は対岸の火事ではない。この危機を乗り越えるため、全国的に連携して、一丸となって強い警戒感を持って取り組むことが必要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 1 月 11 日(月) 13 時 00 分～13 時 45 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、総政部長、保福部長、経済部長、観光振興監、総務部長、保福次長、経済次長、観光次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大阪府、京都府、兵庫県の三府県で緊急事態宣言の発令を要請する動きがある。緊急事態宣言については、本来国で判断すべきものであるが、現実問題として、どのような場合に緊急事態宣言の対象となるのか等を検討しておく必要がある。 ● 国のステージⅣの指標のうち、感染者数は首都圏、関西圏、さらに検討中の愛知県と岐阜県もすべて基準となる 10 万人当たりの週合計新規感染者数 25 人を超えている。道においては、10 万人当たりで現在約 20 人で下回っているが、先週後半から連日 3 桁の新規感染となっており、拡大傾向に転じた。病床については基準を超えていない県もある。(総政) ○ 国から要請の基準が示されない場合においても、道として、どのような状況になれば要請を行うのか、その考え方を予め検討しておくこと。 ● 緊急事態宣言の要請から対象となるまでの期間や宣言の対象範囲も見ながら、考え方を整理したい。(総政) ○ 緊急事態宣言の対象となった場合には、全道に不要不急の外出自粛や 20 時までの時短を要請することになり、これまで以上に大変な状況になる。 ● 現在の感染者の増加については、年末年始の動きによる一時的なものなのか、再び増加傾向に入ったのか、もう少し状況を見る必要があるが、全国的な感染増加が見られる中、道としても対策を強化していかなければならないのではないか。(総政) ○ 国の分科会で、飲食の場面が急所であると改めて指摘している。今の感染動向を踏まえると、飲食の場面における警戒レベルを更に上げる必要があるのではないか。 ● 札幌市と情報交換を行っており、年末年始の感染状況の分析なども踏まえ、対策の必要性を検討していく。(経済) ● 年末年始に会食を行っていた事例や、帰省の際に感染が確認された事例が全道各地で確認されている。飲食の場面におけるリスク回避の行動は全道で必要になっている。(保福) ○ 首都圏等においては、まさに感染爆発という事態に至っている。道においては感染拡大を抑制できるか、今が分水嶺であると考えている。ここで対策を打たなければ首都圏のように感染が急速に拡大する恐れ。その観点から今回の対策をしっかりと検討してほしい。 ○ また、3 月、4 月は人の移動が活発になる。去年の経験で学んだことを活かしていく必要がある。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日時	令和3年1月12日(火) 14時15分～15時00分
場所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、濱坂知事室長、 総政部長、保福部長、経済部長、観光振興監、総務部長、保福次長、 経済次長、観光次長、政策局長、政策局次長 ほか
内容	感染状況などを踏まえ、今後の対応などについて協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の感染状況、全国的な感染拡大や首都圏等への1か月の緊急事態宣言の発令などを踏まえると、道としても1か月、集中対策期間を延長する方向で検討を進めなければならないと考えている。一方で、現在の感染は動きが速く、短期間で大きく変化することから、今後の状況変化によっては機動的に対応していくことが重要と考えている。（総政） ● 札幌市とは、緊急事態宣言の対象とならないよう、市内全域への時短要請なども含め様々な選択肢もあるのではないかと話している。帰省など年末年始の影響は収まっていくのではないかとこの見方もある。引き続き協議を行う。（経済） ○ 北海道の都市構造上、どうしても札幌市内の対策が大変重要となる。加えて、全道における飲食の場面での行動変容を徹底していくことが重要。 ● 飲食の場面における行動変容を求めていくことに加えて、十勝総合振興局で実施している関係者との勉強会のような取組を全道の繁華街に広げていきたい。（経済） ○ 緊急事態宣言における対策では飲食の場面が重要となっている。全国的に感染が拡大する中で、道内の感染拡大をどのように抑えていくかという視点が必要。 ● 緊急事態宣言の検討要請については、要請から発出されるまで一定の期間を要すること、既に、道内の医療提供体制の負荷が高い水準で推移しており、感染の急拡大が医療提供体制に大きな影響が生じかねない状態であること等から、病床数よりも早く数値が増加する新規感染者数を目安とすることとしたい。（総政） ○ 道から国に緊急事態宣言の検討を要請した場合、道としても宣言に準じた取組をしていくことが必要ではないか。 ● 国に要請する事態になった場合には、その際の感染状況を踏まえた、道としての措置について整理が必要（総政） <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年1月13日(水) 10時20分～11時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総政部長、経済部長、観光監、総務部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応などについて協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態宣言の対象区域について、これまで国に要請していた関西圏に加え、中京圏と栃木県、さらには福岡県も追加される模様。 ● 国の専門家から、歓楽街や飲食を介しての感染が感染拡大の要因であるとの見解が示され、また、経路不明の多くは飲食が原因であるとの指摘もある。実際、年末から現在まで飲食店等での集団感染は倍となっており、帰省した方と一緒に飲食をともにした場面で感染が広がった事例が複数確認されている。（以上、総政） ● そうした状況を踏まえ、札幌市と協議した結果、札幌市内の接待を伴う飲食店における時短は継続した上で、すすきの地区の飲食店等の時短を新たに要請することとしたい。（経済） ● さらに、全道での感染事例が多くなっていることから、飲食の場面でのリスク回避の行動を徹底いただくため、年末年始にお願いした、同居していない方との飲食の自粛を追加してお願いすることとしたい。 ● 同居していない方との飲食の自粛が厳しすぎるのではないかとの考え方もあるので、Q&A等で丁寧に説明することとしたい。（以上、総政） ○ 専門家からも、飲食の場面の感染リスクを回避しないと感染の伝播が抑制できない状況にあるとの指摘もある。ここでしっかりと感染拡大を抑えていくことが重要。 ● 最近の急速な感染動向の変化を踏まえ、国内で緊急事態宣言が出されている間は毎週、モニタリングを行う本部会議を開催した上で、状況変化により機動的に対応していきたい。札幌市内における対策に関しては、札幌市とも協議を行い、対策の緩和に関する考え方を追記することとした。 ● この後、1月15日以降の対策及び緊急事態宣言の考え方について、専門家等へ意見照会を行いたい。（以上、総政） ○ 道案及び緊急事態宣言への考え方については了解。また、緊急事態宣言が発出されるような感染爆発に至る前の対策が重要であるが、現在は、国の緊急事態宣言の対象地域とそれ以外の地域で事業者への支援に格差が生じていることから、国に対して是正を求める緊急要請を行ってほしい。 <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 1 月 14 日(木) 10 時 40 分～11 時 30 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総政部長、保福部長、経済部長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応などを協議し、「追加対策」及び「緊急事態宣言に対する道の考え方」について本部会議に諮ることとした。</p>
発言者及び主な発言内容	<p style="text-align: center;">（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道案について、専門家等からは、医療の逼迫が解消され、ある程度の余裕が生まれるまでは措置の継続を望むといった意見が寄せられたが、概ね「やむを得ない」、「妥当である」との意見をいただいた。 ● なお、意見照会の中で、有識者から、飲食の場面における注意喚起として「5人以上、2時間超」を控えるという要請は、その位までは大丈夫と誤解されかねないといったご意見をいただいたことから、昨日照会した案から修正することとした。 ● 市町村、関係団体からは、事業者に対しては手厚い財政的な支援策を同時に打ち出すべき、企業の倒産・廃業や従業員の雇止めにつながるのではないよう継続的な支援策を実施すべきといった意見が寄せられた。また、緊急事態宣言の要請を検討するにあたり、基準を設けることは必要である、全道一律なのか明確にすべきであるなどの意見が寄せられた。（以上、総政） ○ 11月には、北海道は東京都よりも感染者数が多かった。その後2か月の中で事態は急激に変化している。東京のような爆発的な感染といえる状況は何としても避けなければならない。 ○ ここでもう一段、感染をしっかり抑制することが重要であり、しっかり取り組んでほしい。また、緊急事態宣言の検討を要請せざるを得ない事態を想定して、予め必要な対策等を検討しておくこと。 ● 昨日指示のあった緊急要望については、経済的影響が長期化している道内の事業者や被用者への支援の充実・強化とともに、地域の取組について、緊急事態宣言の対象地域と同様の支援がなされるよう、早急に要請する方向で調整している。（以上、総政） <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 1 月 27 日(水) 14 時 15 分～15 時 00 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、総政部長、保福部長、経済部長、観光振興監、総務部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 小樽市において、集団感染が多発し、本日の感染者数がこれまでの最多となる見込みとなる状況を踏まえて、小樽市と感染状況の分析を行い、必要な措置について協議を行っている。これまで、一つの病院における大規模な集団感染の影響が大きかったが、現在は医療、福祉施設、職場、学校、飲食店と幅広い業種にわたる集団感染の発生している状況。 ● 小樽市としても、集団感染により感染者が急増しており、このままでは市中における感染が広がる可能性を危惧している。(以上、総政) ○ 感染状況を踏まえた措置としては、どのような内容となるか。 ● 現在の感染状況は、多くの飲食店で感染が発生した札幌市とは状況が異なるという認識を小樽市と共有しており、旭川市と同様、外出自粛等の行動変容を求める方向。(総政) ○ 病床の状況はどうか。 ● 市内の基幹病院で集団感染が発生しており、市内の医療提供体制の負荷は高い状況。集団感染の抑え込みに向けて、医師、保健師等の広域派遣チームを道から派遣して取り組んでいるが、これ以上の負荷の増加を防ぐためには、もう一段の行動変容のお願いが必要。(保福) ● 小樽市との協議が整い次第、専門家等の意見を聞いた上で、本部会議に諮ることとしたい。(総政) ○ 小樽市は札幌市と隣接し、小樽市の感染拡大は市内のみならず、札幌市をはじめ後志管内にも大きな影響を及ぼす。感染拡大を早期にくい止めることが重要。全道においても、2月15日までの集中対策についてしっかりと取組を進め、ここでもう一段、感染を減少させていかなければならない。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年1月28日(木) 10時30分～11時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、 総政部長、経済部長、総務部長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議し、追加対策などについて本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染リスクが回避できない場合、小樽市内における不要不急の外出自粛及び同市との不要不急の往来自粛の要請を行うことについて、昨日、小樽市と協議が整った。専門家及び有識者に意見照会をしているが、今のところ概ね「妥当」との回答をいただいている。関係団体からは、今回の措置は「妥当」とした上で、小樽市内の企業の事業継続や雇用維持に係る対策を引き続き講じることが必要、といった意見も寄せられたところ。 ● 意見照会でこの後も引き続き特に異論がなければ、原案のとおり、本日の本部会議に諮ることとしたい。(以上、総政) ○ 全道各地で感染が確認されており、小樽市をはじめ、最近多発している集団感染の早期封じ込めなど、地域の実情に応じた対策を効果的に進めていくことが重要。振興局とも認識を共有し、積極的に取組を実施してほしい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 2 月 4 日(木) 11 時 00 分～11 時 30 分
場 所	知事応接室
出 席 者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、 総政部長、保福部長、経済部長、観光振興監、総務部長、保福次長、 経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議し、本部会議でモニタリ ング状況などについて情報共有することとした。
発 言 者 及 び 主 な 発 言 内 容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況に ついて意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況は、依然として、100 名前後の感染が続いており、札幌市では、新規感染者数は増加傾向にある。この傾向が続くのか、慎重に見極めることが必要。（総政） ● これまでの医療機関との調整を踏まえ、病床確保計画を修正し、地域で最大限受入可能な病床数を 1,811 床から 1,827 床に増加した。（保福） ● 一昨日（2 月 2 日）、国の基本的対処方針が改正され、栃木県を除く 10 都府県で引き続き緊急事態宣言の対象区域として延長された。今後の栃木県の取組などにも注視していく。（総政） ○ 道内の感染状況も予断を許さない状況が続いている。対策期間の 2 月 15 日を見据えて、感染状況を慎重にモニタリングし、適切なタイミングで対応が取れるよう、あらゆる可能性について検討を進めること。 ○ 3 月以降、転勤など人の動きが活発化する季節となるが、北海道は昨年この時期に感染拡大を経験している。この経験を踏まえ、再び感染拡大とならないよう、地域の実情に応じ、関係団体などとも認識を共有しながら、前広に対策を講じていく必要があるので、早急に対策を検討すること。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月5日(金) 10時15分～10時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、中野副知事、総政部長、観光監、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 様々な感染状況を想定しながら、対策期間後の対応について検討している。特に札幌市内の対策が重要となることから、札幌市とは様々な観点から協議を行っている。（総政） ○ 今後の対策を検討する上では、足下の感染状況に加えて、北海道を取り巻く環境も見えていく必要がある。例えば、全国の緊急事態宣言が発令されている状況や3、4月の人の移動の活発化、今後のワクチン接種の動きなどを考慮する必要がある。今後の札幌市内の感染動向を見通すことは難しいが、今のうちに感染者数を減少させ、医療提供体制の負荷を減少させていかなければならない。 ● 経済活動と感染防止とのバランスを考慮した対策を進めることが重要であり、現在の局面では感染防止に力を入れて、感染者の抑制を図っていく必要がある。（副知事） ○ 北海道は全国でも早くから時短要請等を行い感染拡大防止に取り組んできた。緊急事態宣言の対象地域と感染を拡大させないために頑張ってきた地域との間で、支援に差が出るのは適切ではない。国に対しては、この点しっかりと申し入れを行っていく必要がある。国の対応によっては、道として何らかの支援策を検討しなければならない。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月10日(水) 10時30分～11時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総政部長、保福部長、経済部長、観光監、総務部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市の新規感染者数は、一時増加した後、再び減少傾向に転じているが、この傾向が続くかどうか予断はできない状況。現在の感染者数を客観的にみると、人口10万人当たりの換算では、道の警戒ステージ4相当となっており、緊急事態宣言の対象となっている政令市と比較しても高い水準。春の異動やワクチンの接種開始時期を見据え、もう一段の感染の抑制と医療提供体制の更なる負荷の低減が必要である。札幌市とは、こうした認識については一致している。 ● その上で、時短要請の扱いを中心に、札幌市と協議を続けている。道としては、市内の感染状況を踏まえた上で、①感染リスクの高いとされている飲食における対策を通じて市内での感染を徹底的に抑える、②減少傾向を確かなものとするため現在の要請内容を継続する、③減少傾向が確認され一定の水準を下回るのであれば段階的な緩和もしくは全ての解除、といった様々な選択肢があると考えており、感染状況を慎重に見極めながら対策を協議している。 ● また、小樽市に関しては、感染者数は大幅に減少したが、医療提供体制の負荷の状況を含め、市の考え方を踏まえて対応を検討したい。（以上、総政） ○ 緊急事態宣言地域の感染者数が大幅に減少している中で、札幌市の感染者数の水準は依然として高い。3月を迎える前に水準を一段と引き下げておくことが重要。札幌市とも引き続き十分協議しながら、16日以降の対策を早急に取りまとめていくことが必要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月11日(木・祝) 15時30分～16時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総政部長、経済部長、観光監、総務部長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● これまで札幌市と対策の選択肢について協議してきた結果、すすきの地区の感染者数が減少する一方、すすきの地区以外の感染は一定程度発生しており、すすきの地区における時短継続では、これ以上の感染の抑え込みは難しいとの認識に基づき、札幌市内全域の飲食店に時短をお願いすることとしたい。(総政) ● 札幌市からは、要請が長期間にわたっていることから、新規感染者数などの数値を用いて解除条件を設定し、その条件をクリアした際の速やかな解除が必要との申し入れを受けており詳細を検討している。また、関係事業者に対する支援も求められている。(経済) ● 小樽市については、引き続き感染者の確認が続いており、入院患者の広域での調整も続いている。市としても、しっかりと感染を抑え込みたいと考えており、現在の措置を継続したい意向。(総政) ○ 北海道は昨年3月、独自の緊急事態宣言により感染者数を一旦は抑え込んだが、その後、人の移動の影響を受けて、感染が拡大したという経験がある。ここで、もう一段の感染を徹底して抑制し、医療提供体制のさらなる負荷の低減を図ることは重要。ただし、このタイミングで市内全域の飲食店で時短要請を行うことに対しては丁寧な説明が必要である。 ● 札幌市と小樽市への地域限定の要請については、強い要請であることから、2月28日までの約2週間の短期集中で徹底してお願いすることとし、全道域の要請は、全国的な厳しい感染状況等を踏まえ、緊急事態宣言の発令期間と合わせることをどうかと考えている。(総政) ○ 集中対策期間の名称について、様々な意見があることは承知しているが、今、名称を変えることによって、感染拡大が一段落したというメッセージが伝わるおそれがある。また、全国的に緊急事態宣言が発令され、全国民が感染対策に取り組む中で、道としても引き続き集中して対策を続けていく必要があることから、これまでと同様の名称でいいのではないかと。 ● 再度、詳細を札幌市等と協議し、期間途中での前倒し解除の条件等を含めて案が整った段階で、専門家等のご意見を伺うこととしたい。 ● また、これまでの国の動向や道内の感染状況の推移などを踏まえ、道独自の警戒ステージの運用を見直すこととしたい。一つは、「新規報告数」を先行指標とし、「病床」又は「重症者用病床」の負荷の状況により、ステージ移行を総合的に判断すること。また、特定の地域や業態に対して強い施策を講じるに当たっては、他地域への感染拡大、市中での広がり、医療提供体制への負荷の状況を総合的に判断すること。(以上、総政) ○ これまでの対応をステージ運用に反映させていくことは重要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月13日(土) 10時10分～10時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、中野副知事、総政部長、保福部長、経済部長、保福次長、 経済次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、追加の対策について本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日提示した道の対策案について、専門家や有識者からは、概ね「妥当」との意見をいただいた一方で、感染が減少している中で対策を強化することは理解されづらいので、わかりやすい説明が必要であるといった声も寄せられた。 ● また、対策期間について、「緊急事態宣言が発令されている間」とするのは反対であり、独自の期間を設定すべきというご意見もいただいた。 ● 道としては、国の緊急事態宣言の発出により、全国が一丸となってまん延防止に取り組む中、警戒感を高めながら、行動変容に取り組んでいただく必要があると考えている。こうした対策期間の考え方等について、丁寧に説明していくこととしたい。 ● 「道の警戒ステージ運用の考え方」については反対意見などはなかったが、関係団体より、措置の解除や緩和要件を明確化し、目標に向けて各地域が取り組めるようにすべきである、特定の地域や業態を対象とした強い施策を講じるに当たっては事業者の経営状況も勘案してほしいなどの意見が寄せられており、今後の運用に当たり留意していきたい。(以上、総政) ○ 道民の皆さんには、長きにわたり負担をかけているが、去年の年度末から再拡大したという経験を踏まえ、今、この時機に十分な備えが必要であることを丁寧に訴えていきたい。 ○ 市内全域の時短要請が実効性のあるものとなるよう取組の徹底をお願いしたい。また、幅広い事業者の皆さんへの経済的な影響も長期に渡っている。独自の対策に取り組んでいる道県の事業者にも支援が及ぶよう国に引き続き強く要請するとともに、国の結論を待つことなく、道としてどのような支援ができるか早急に検討すること。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月17日(水) 13時45分～14時15分
場 所	知事室
出席者	知事、中野副知事、総政部長、保福部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市内の時短要請について、2月16日、新規感染者数の週合計の7日間平均が前倒しの解除の目安としていた15人を下回った。そのため、もう一つの目安としている医療提供体制の負荷の状況等について判断していく必要がある。 ● 現在の入院患者数は、依然として道の警戒ステージ4相当の水準であり、現時点で前倒し解除できる状況には至っていない。医療提供体制の負荷はできるだけ引き下げることが重要であるため、今後の入院患者数の推移を慎重に見極める必要がある。(以上、総政) ○ 前倒し解除を行う具体的な水準の考え方についてどうなるのか。 ● 道の警戒ステージ3相当を目安としているが、そこまで下がらない場合においても、新規感染者数が減少したことから、遅れて減少してくる病床数について一定期間モニタリングを行って、減少傾向が明らかとなった場合に解除の判断を行うという考え方もある。 ● 一方で、有識者会議においては、強い措置を行う場合には、対策に協力いただくためにも事業者に丁寧に説明することが必要であるとのご意見もいただいている。また、新規感染者数が減少傾向となっている中で、時短に協力をいただいている事業者の納得感を得るためにも、今回に限った対応としては、医療提供体制の負荷に関し、札幌市内の病床数の具体的な目安を示すことが必要ではないか。(以上、総政) ○ 病床数は全道域で運用している中で、札幌市内の目安を示すことはできるのか。 ● 札幌市内の病床は札幌市外の入院患者も受け入れていることなどから、具体的な基準を出すことは困難。 ● ただし、あえて機械的に目安を算出とした場合、国の警戒ステージの考え方をいれば、最大確保病床の5分の1となる90床、又は現時点の確保病床の4分の1となる110床が考えられる。(以上、保福) ○ 新規感染者数が大きく減少した状況を踏まえ、今回皆さんの協力を得るためには具体的な目安を示すほうが分かりやすいのではないかと。 ● 今回前倒しの解除を判断するという状況の下、私権の制限は必要最小限とするという観点に立つと110床を目安とする方が納得感を得やすい。(総政) ○ 具体的な目安を示す方向で札幌市と協議を行い、専門家の意見も伺って道としての考え方を整理してほしい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月18日(木) 13時30分～14時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、総政部長、保福部長、保福次長、経済次長、観光次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、時短要請の前倒し解除の目安などについて、本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 時短要請の前倒し解除のための目安について、専門家及び有識者から、概ね「妥当」との回答をいただいている。 ● その際、「想定以上に早く新規感染者数が減少したことについて、道民、事業者の皆さんの努力をしっかりと評価してほしい」、「入院患者数等を見ても、時短要請の前倒し解除に至っていないことから、感染拡大防止策を継続する必要がある」、「入院患者数も判断材料とするという考え方は理解できるが、本来は予め対象としておくべき指標と思われることから、110床という判断指標の見直しについて丁寧な説明が必要である」、「依然として医療提供体制のひっ迫状況が続いており、短期集中でしっかりと感染を抑え込むという今回の集中対策期間延長の狙いを考えると、当面の時短要請の継続は妥当と考える」と意見が寄せられている。ご意見を踏まえ、丁寧に説明を行い、原案どおり本部会議に臨むこととしたい。 (以上、総政) ○ これから人の移動が活発になる時期に備えるとともに、円滑にワクチン接種を受けられる環境を構築する必要がある。長期にわたる闘いの中で、「自粛疲れ」などもあると思うが、ここでもう一踏ん張り、道民及び事業者の皆さんにご理解とご協力をお願いしなければならない。 ○ また、発生件数は減少しているものの、ここで気を緩めることなく、「感染はいつでも、どこでも起こりうる」ことを、今一度、再認識し、対策に取り組むことが必要。 ○ さらに、本道においても、明日にも先行接種がはじまる。道民や関係者の皆さんへの正しい情報提供はもとより、市町村に対する万全のサポートを行ってほしい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月22日(月) 15時30分～16時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、中野副知事、知事室長、総政部長、保福部長、観光監、総務部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数は減少傾向にあり、10万人当たりの新規感染者数は、札幌市及び小樽市とも「15人」を大きく下回る水準となっている。一方で、入院患者数は、昨日現在、道は408床、札幌市内は125床となっている。 ● 引き続き、病床の状況を踏まえて、前倒し解除をするかどうか判断していくが、事業者サイドの準備の都合等もあることから、解除に当たっては時間的猶予も考慮した上で判断する必要がある。 ● 外出や往来自粛については、今後の感染動向を見極め、今週中に判断していきたい。(以上、総政) ○ これまで道民の皆さんと努力を積み重ねて作り上げたこの改善傾向をしっかり定着させていくため、過度の気持ちの緩みを絶対に避けるためにも、段階的に解除していくことが必要。 ● ワクチンの医療関係者への優先接種について、国から、3月1日から発送し、順次接種を始めるよう示された。ワクチンの配分方法などについて、国の考え方が不透明な中で、道の考え方を整理する必要があるため、丁寧に進めていくこととしたい。(保福) ○ 先週、全国知事会として緊急要望を行ったところであるが、いよいよ優先接種が始まるに当たり、改めて、課題を整理して、道としても国に対して要望するよう準備を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月25日(木) 11時10分～11時40分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、保福部長、観光監、総務部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の新規感染者数は、引き続き減少傾向が続いており、10万人当たり15人/週を目指すとした目標を下回っている状況。入院患者数は、昨日時点で、道378床、札幌市内では111床と目安である「110床」に近づいてきている。 ● 現時点において、入院患者数が時短要請の前倒し解除の目安を下回っていないことから、事業者の準備時間を考慮すると、前倒しして解除することは困難。一方で、目安には近づき、大きく改善していることから、予定の期間である2月28日をもって終了する方向で専門家等の意見を伺うこととしたい。 ● また、外出や往来自粛についても、現時点で新規感染者数の目標をクリアしており、予定どおり終了することとし、併せて、札幌市の警戒ステージ4相当の取扱いを終了することとしたい。 ● 一方で、集中対策期間については3月以降、就職や転勤、卒業等に伴う人の移動や会食機会の増加による感染の再拡大に備えるとともに、安心してワクチン接種を受けられる環境づくりも必要であることから、現在の改善傾向をしっかりと定着させるために、あと1週間、しっかり対策に取り組むこととしたい。 ● こうした内容について、専門家等のご意見を伺っていくこととする。 (以上、総政) ○ 全国的にも感染者数が減少し、一部地域において緊急事態宣言の前倒し解除の動きが報じられている。どうしても警戒感が薄れてしまう状況にあることから、段階的に解除を進めていくことが重要。 ● 北海道スタイルを徹底していない店舗の利用を控えるという措置は継続されていることなどを呼びかけ、一気に全面的に解除ではないということに注意喚起していくことが必要。(副知事) ● イベントの開催制限については、未だ国から考え方が示されていないが、国の通知を踏まえ、速やかに手続きを進めたい。(総政) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年2月26日(金) 10時30分～11時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、 総政部長、保福部長、総務部長、観光監、保福次長、経済次長、政策局長、 政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、感染防止に向けた対策及び イベントの開催制限について本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道の対策案について、専門家や有識者からは、概ね「妥当」との意見をいただいた。 ● 一方、対策期間については、「ゴールが見えない取組は道民のモチベーションが持たない。期間を3月7日までとし、『少なくとも1週間気を抜かず頑張りましょう』というメッセージを出すことが必要」というご意見をいただいたところであり、当初道案では、「国内に緊急事態宣言が発令されている間」としていたが、有識者のご意見を踏まえて、対策期間を「3月7日まで」と明示することとしたい。 ● このほか、「感染が減少傾向になっていることに対して、道民の皆様への賞賛の言葉を発信してほしい」、「リバウンドを防ぐため、日常生活における基本的な取組の実践について道民の方々の理解を得ていくことが必要」、「時短等の終了について賛同するが、気の緩みが懸念され、飲食の際のリスク回避の徹底を発信すべき」といったご意見が寄せられており、それぞれ今後の取組に反映させることとしたい。 ● また、「前倒しの解除の目安である道350床、札幌市110床を達成していない状況で対策を解除することの説明を分かりやすくすべき」というご意見があった。道350床、札幌市内110床は途中で解除する場合の目安であったが、今回、こうした目安にも近づき、また、札幌市内では本日も下回り、改善が見られることから、当初予定どおり2月28日をもって時短要請等を終了するものであることを丁寧に説明したい。 ● 関係団体、市町村からも、概ね「妥当である」というご意見であったが、「約4ヶ月近くにわたる要請が解除されることは歓迎するが、要請終了等をきっかけに「気の緩み」が生じ、感染拡大に転じることのないよう、知事自らメッセージを発していただきたい」、「道の各ステージの考え方やその対策、自粛等求められた時の解除基準を明確にするとともに、一層丁寧な説明、周知をお願いしたい」、「経済活動はかつてないほど深刻なダメージを受けており、雇用維持及び事業継続に引き続き支援をいただきたい」などの意見が寄せられた。今後の対策に活かしていきたい。 (以上、総政) ○ ここで過度の気持ちの緩みは避けなくてはならない。「集中対策期間は、国の緊急事態宣言が発令されている間」としてきたが、感染状況等が大きく改善する中、ややもすると気の緩みを招きがちであり、集中対策期間を3月7日までと明示することは効果的。残り約1週間の一人ひとりの感染防止対策の徹底が重要となる。

- ワクチン接種について、医療従事者への優先接種などの国の方針が変更されたことを踏まえ、現場において、混乱が生じることなく、迅速かつ効率的に接種が進められるよう、ワクチンの配分量や取扱いの最新の動向について情報共有を図ることとしたい。（保福）
- 新型コロナウイルスワクチンの接種は、感染対策の決め手となるものであるが、我が国がかつて経験したことのない大規模な取組であり、道と市町村がこれまで以上に連携して取り組んで行かなければならない。地域における準備作業が本格化してきており、関係部門が連携するなど、振興局一体となって、地域の実情に即した形で、市町村支援に努めるようにしてほしい。

(以上)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年3月2日(火) 14時00分～14時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、総政部長、保福部長、経済部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況は、新規感染者数及び入院患者数は改善傾向が続いている。対策の期限である3月7日をもって、集中対策期間を終了できるか予め判断することとし、仮に終了した場合の対応についても検討しているところ。(総政) ○ 集中対策期間を終了する場合には、一気に緩んで再拡大につながるような事態は避けなければならない、段階的な緩和を検討するべきではないか。また、年度末、年度始めは全国的な移動も活発となるため、特に注意が必要。 ● 次の対策は、国の分科会において、リバウンド防止策が提言されていることから、その内容を踏まえて検討している。 ● 特に、今後、会食の機会も増えることから、引き続き、飲食の場面における注意喚起が必要。会食自体を控えるのではなく、感染リスクの回避の実践をいかに定着させていくかが重要。飲食の場面では、マスクを外して会話をすることがリスクを高めることから、マスクを外している間は会話をせずに、食事をするを徹底していくことが大切。事業者の間で取組が進められている「黙食」という言葉を使うのがいいのではと考えている。(以上、総政) ○ 「黙食」という言葉はインパクトはあるが、完全に浸透しているという訳ではない。飲食店への影響もあることから、具体的にどういう行動を実践するのか、説明を加えることが必要。 ● 国の分科会の提言も踏まえながら、要請内容を検討したい。(総政) ● 分科会においては、隠れた感染源を早期に確認するための積極的疫学調査の徹底や感染リスクが高い場所等における「モニタリング検査」の実施が求められており、道としての考え方を整理している。(保福) ● 分科会からは、予兆に対する迅速な対応として、重点的なPCR検査や時短等の必要な対策、まん延防止等重点措置の適用などが必要とされている。道としての対応についても検討している。(総政) ○ 今後、感染のリバウンド、再拡大は起きるとの想定で対応を検討していくことが必要。 ○ 昨年の経験や国の対策なども踏まえて、必要な感染防止行動や対策についてしっかり検討してほしい。特に、年度末、年度始めの対策については、全国的に歩調を合わせて取り組んでいくことが必要であり、再拡大を招かないように取り組むことが重要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年3月3日(水) 10時30分～11時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、 総政部長、保福部長、経済部長、総務部長、保福次長、経済次長、 政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の改善傾向が続けば、集中対策期間は終了することとしたい。なお、緊急事態宣言が予定どおり終了するかどうか、国や他県の動向を注視している。 ● 昨日の議論を踏まえて、8日以降の対策について、「感染防止行動の実践」、「行動変容の定着に向けた普及啓発等」、「感染再拡大の予兆の探知等」、「予兆に対する迅速な対応」の4つの柱で取りまとめた。 ● 「感染防止行動の実践」については、今後、日常生活の中に取り入れ定着していただく基本的な感染防止行動と、国の通知等を踏まえた年度末・年度始めの行動の徹底として、内容を区分して要請を行うこととしたい。 ● モチベーションの維持などの観点から目標を示し、ご協力をいただけるよう情報発信にも力を入れていきたい。(以上、総政) ● 「予兆の探知等」に向けては、国の提言も踏まえて、積極的に取り組んでいく。特に変異株については、道衛研でスクリーニング検査を実施しており、今後さらに強化していく。(保福) ● 地域の感染状況に応じた対応についても考え方を整理した。モニタリング結果に基づく注意喚起、拡大した場合の強い措置の実施、全道に広がるおそれのある場合の「まん延防止等重点措置」という段階に応じて適切に対応していきたい。 ● 「まん延防止等重点措置」については、特措法の規定を踏まえ、地域の感染拡大により、全道に拡大するおそれがある場合に国への要請を検討する。具体的には、全道の新規感染者数が10万に当たり15人を超えるおそれがある場合という目安を示したい。(以上、総政) ● ワクチンについては、現在、医療機関や市町村等との調整、情報の共有をしながら進めている。(保福) ● 外出自粛や時短要請などにより、経済的な影響を受けた方に対する支援について、詳細の具体的な詰めを急いでいる。(経済) ○ 年度末・年度始めは、感染の再拡大を防ぐ観点から重要な期間。道職員も率先した対策を進めながら、経済団体等と連携して取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年3月5日(金) 15時15分～15時50分
場 所	知事応接室
出席者	知事、総政部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、感染防止に向けた対策及びイベントの開催制限について本部会議に諮ることとした。</p>
発言者及び主な発言内容	<p style="text-align: center;">〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日意見照会を行った道案について、専門家及び有識者からは、概ね「妥当である」とのご意見をいただいた。その際、「手洗い、咳エチケット、マスク、距離をとるといった基本的項目も掲げてはどうか」というご意見があり、外出の際の行動ポイントに追加したい。 ● そのほか、「道民は『対策疲れ』しており、気を緩めない程度のメッセージは必要」、「ステージ2以下を目指すという目標は明確でよい」、「ステージを上げていく上で重要なのは、次にステージを上げる基準を明確にしてから実施すること」というご意見をいただいた。 ● 関係団体、市町村からは、「経済へ甚大な影響を及ぼしており、引き続き、迅速かつきめ細やかな対応をお願いしたい」、「道民や事業者が『励み』を感じるような内容を目標と合わせて掲げることも検討いただきたい」、「再拡大させないため、道民に気の緩みが生じないようにしっかりと伝えていくことが必要」、「年度末・年度始めは人の移動が増加することから、道民に感染防止行動に向けた強いメッセージが必要」などの意見が寄せられた。 ● 専門家等のご意見については、今後の対策に活かしていきたい。（以上、総政） ○ 有識者からの「手洗い、咳エチケット、マスクなどの基本的項目も」というご意見は、行動の大前提として掲げたらどうかという趣旨のものではないか。個別の行動の要請に追加するよりも、全体における基本となるものとして整理してほしい。 ○ 集中対策期間は終了となるが、現在も医療機関における集団感染の発生など、予断を許さない状況が続いている中で、今後は、人の移動や会食機会の増加といった感染リスクが高まる時期に備えるとともに、安心してワクチン接種を受けられる環境をつくっていく必要がある。この後の対応が極めて重要となることから、関係者の皆さんと認識を共有し、感染の抑制、そして、再拡大の防止に向けて取組を進めていってほしい。 ○ ワクチン接種を巡る動きは、日々大きく変化をしている状況にあることから、医療機関など関係する皆さんと情報共有をより密にするとともに、特に、実施主体となる市町村からの相談には、きめ細やかで丁寧な対応に努めるなど、円滑な接種体制をしっかりと構築すること。 ● 医療機関への優先接種用のワクチン25箱が本日道内に到着。対策本部でもこうしたワクチンの動きを共有する。（保福） <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年3月10日(水) 17時30分～18時00分
場 所	議会知事室
出席者	知事、中野副知事、総政部長、保福部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態宣言が1都3県において発令中であることから、モニタリングの本部会議は継続して開催したい。足下の感染状況としても、新規感染者数が増加傾向にあるとともに、変異株も確認されていることから、再拡大防止に向けて、一段と警戒感を高め、対策に取り組んでいきたい。（総政） ● 現在、釧路や十勝などにおける集団感染が新規感染者数を押し上げている。医師の派遣など、抑え込みに向けて取り組んでいる。（保福） ○ 現在の感染状況を踏まえると、当面「集団感染への対応」、「変異株への対応」、「基本的な感染防止行動の実践」という3つの視点に重点を置いた取組が重要。 ○ 集団感染は感染の連鎖を防ぐことが重要。早期の検査をしっかりと進めてほしい。 ○ 特に、変異株については、感染力が従来よりも強い可能性があると言われており、保健所設置市との連携を強化して、検査を迅速に実施することが重要。一方で、過度に恐れることなく、冷静に行動していくことが重要となるので、正確な情報の発信を行うようにしてほしい。 ○ また、ワクチンについて、医療従事者向け優先接種が道内でも開始され、高齢者向けの接種も動き始めている。配分先などの国からの情報が不透明な部分も多く、テレビの報道などで不安が生じることも懸念される。ワクチンの対象となる道民の皆さんや実施主体となる市町村や医療関係者の皆さんに、早め早めに道の考え方や接種体制などについて情報共有を図ってほしい。 ● 知事の指示を踏まえて、当面の対応を整理し、専門家等のご意見を伺うこととする。（総政） <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年3月12日(金) 16時00分～16時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、保福部長、保福次長、経済次長、政策局次長 ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、時短要請の前倒し解除の目安などについて、本部会議に諮ることとした。</p>
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の対策案について、専門家等からは、「変異株も確認されていることから、警戒心を高め、黙食など予防策の徹底が必要」、「移動や飲食の機会が増加する年度替わりの時期に向けて、更なる感染拡大が懸念されるため、道民の方々に、引き続き緊張感を持った行動をお願いする必要がある」、「集団感染の発生を踏まえた、類似施設等に対するPCR検査の実施を検討すべき」といったご意見が寄せられた。 ● また、関係団体からは、道民が前向きに取り組めるようなメッセージの発信といった意見のほか、ワクチンや変異株に関する取組についてご意見をいただいた。こうしたご意見については、今後の対応に活かしていきたい。(以上、総政) ○ 感染状況は未だ予断を許さない。特に、変異株への警戒をもう一段高める必要がある。これから人の移動や会食機会の増加が本格化するとともに、ワクチンも高齢者向けの接種の動きが始まるなど、ここからの取組が極めて重要となる。先日、指示した対応について、改めて本部会議で指示をする。感染の再拡大の防止に向けて、「感染はいつでも、どこでも起こりうる」ことを再認識し、あらゆる機会を活用した注意喚起を行い、今一度、気を引き締めて、感染防止対策の徹底を図ってほしい。 ● 13件の変異株の感染が確認されたことから、現状について、札幌市から報告をいただくこととする。また、高齢者向けワクチンが4月から配布されることとなり、その配分先等を含めた対応について、対策本部として共有する。(保福) ● 普及啓発の取組として、集団感染の事例集を作成した。また、道議会でもご指摘いただいた黙食の取組について、丁寧に分かりやすく説明していくため、啓発チラシを作成した。市町村や関係団体等を通じて、周知を図っていききたい。また、若者向けにマンガやイラストを活用した情報発信について各本部員に協力を呼びかけていく。(総政) ● 支援金の概要が固まったので、本部会議で共有する。商工会議所等を通じて、周知をお願いする。全道の事業者幅広く支援が行き届くように取り組んでいきたい。(経済) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 3 月 19 日(金) 11 時 10 分～11 時 40 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、保福部長、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「感染の再拡大防止」の改訂などについて、本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p style="text-align: center;">〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、知事にご確認いただいた資料について、現在、有識者等に意見照会中であるが、これまで概ね妥当との意見をいただいている。主な意見としては、「道民や事業者に感染リスクを極力低減する行動を徹底するようメッセージの発信をお願いしたい」、「どの都道府県で行動制限が要請されているか周知が必要」、「『年度末、年度始めにあたっての感染防止行動』の徹底について、道民や事業者に改めてメッセージを発信いただきたい」、「きめ細かな警戒ステージの運用と合わせて、小康状態の地域から経済を動かすよう市町村を巻き込み、道として取り組んでほしい」、「どうみん割の早期再開を希望」などの意見が寄せられたところ。 ● 他都府県の要請についてはホームページで公表するなど、今後の対策に活かしていく。 ● 昨日、開催された国の分科会では、緊急事態宣言後の対応として、①飲食の感染対策、②変異株対策、③検査の強化、④ワクチン接種、⑤医療提供体制の充実の 5 本柱が示された。道としても、感染の再拡大の防止に向けて、国の対応を踏まえ、感染対策の徹底を図っていく必要がある。（以上、総政） ○ 分科会の尾身会長が、まん延防止等重点措置の適用タイミングを含めて国のステージ運用の見直しとサーキットブレーカー機能の構築といったことに言及していた。道の警戒ステージの見直しも、国のステージ指標等を目安として検討することが必要となることから、国の動向を注視しておくこと。 ● 札幌市のリンクなしの割合が 4 割を超えて、増加傾向にあることから、注意が必要な状況。 ● 医療者向けのワクチンが第 2 弾として、3 月 22 日の週から道内に出荷される。高齢者向けワクチンの第 2 弾が 4 月 5 日の週から市町村に配布される。 ● 宮城県において感染が拡大しており、保健師等の派遣要請を受けている。道全体として渡島保健所から 3 名、旭川市保健所から 1 名の計 4 名を交替で派遣することとした。（以上、保福） ○ 緊急事態宣言の解除という報道等により、どうしても気が緩みがちになるが、ここでの感染の再拡大は何としても避けなければならない、対策の徹底が必要。これから年度末、年度始めの時期を迎えるにあたり、手洗いやマスクの着用といった基本的な感染防止活動の実践はもとより、感染リスクの高いとされる会食の機会が増えるので、飲食の場面における対策について、繰り返し繰り返し呼びかけ続けることが重要。

- 緊急事態宣言が終了される中、今後、進学や転勤シーズンが本格化し、全国各地からの人の移動が一層活発になることが想定されることから、改めて来道者向けに空港等での啓発をはじめ、本道に移転される方々向けの注意喚起を実施したい。（総政）
- 札幌市内の感染状況について、新規感染者数やリンクなしの割合などが増加傾向にあることから、警戒感を高めていかなければならない。しっかり市と連携してほしい。
- 国の緊急事態宣言は終了するが、道内の感染状況を踏まえ、対策本部は機動的に開催することとする。

(以上)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 3 月 24 日(水) 11 時 00 分～11 時 40 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総政部長、保福部長、観光監、保福次長、経済次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市の感染状況は厳しいものとなっており、道内の感染者数の 60% を超える割合になってきた。感染拡大の要因分析を含め、札幌市とは現在、必要な対策について協議を行っている。 ● 道としては、特定の地域において、感染拡大傾向が見られる場合には、他の地域に波及する可能性が高いと考えられるか、地域における感染の拡がりや推定されるか、医療提供体制の負荷が高まっているかといった点を総合的に勘案して、強い措置を講ずることとしている。 ● 札幌市の都市構造上、札幌市内の感染拡大は他地域に拡大する傾向があることから、具体的な対策の必要性を協議している。また、変異株により、感染拡大のスピードが速まる恐れも危惧している。（以上、総政） ○ これまでの経験から、札幌市内での感染拡大から遅れて他の地域に波及したことを分かりやすく示せば、札幌市だけの問題ではないと受け止めてもらえるのではないかと。秋の感染拡大のスピードを見ると、それほど猶予があるわけではない。また、今回は変異株という新たな要素もある。感染しやすい可能性を踏まえ、対策が必要となる場合には早めに躊躇なく行っていくことが必要。 ● 変異株については、道衛研によるスクリーニングの実施率は約 47% となっている。10 か所の道立保健所でもスクリーニング検査を実施できるよう準備を進めている。（保福） ● 引き続き、札幌市と協議を続け、早めに対応できるよう準備を進めたい。（総政） ● 「新しい旅のスタイル」は、札幌市に対する措置の内容によっては、札幌市を遅らせてスタートさせなければならない可能性もある。この点も併せて、協議を進めていく。（観光） <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 3 月 25 日(木) 9 時 10 分～9 時 45 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、総政部長、保福部長、経済部長、観光監、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市の新規感染者数は、昨日 24 日には道の警戒ステージ 4 相当の水準に至った。また、変異株による感染の確認も続き、医療提供体制の負荷が増加している状況。 ● 札幌市内の感染者の行動履歴を見ると、特定の場所や施設ではなく、知人との交流といった個人活動、会社、学校など様々な場面での感染が確認されている。 ● こうした状況を踏まえ、時短要請は行わないこととし、変異株による感染が多く確認され、感染拡大が急速に進む可能性も考慮し、ステージ 4 相当の強い措置である「感染リスクが回避できない場合の不要不急の外出・往来自粛」を要請することとしたい。 ● また、これまで有識者や議会でのご意見を踏まえ、対策の実効性を高めていくため、目指す目標を示すなど、分かりやすい情報発信に努めていきたい。(以上、総政) ○ 「感染リスクが回避できない場合」という表現は分かりにくいという声もあった。 ● これまでの国の分科会等の表現等についても確認し、検討したが、混乱を避けるためにもこれまでと同様の表現とし、Q&A を作成するなど、丁寧に説明していきたい。(総政) ○ これまでの要請で道民の皆さんのご協力とご理解をいただき、11 月下旬をピークに減少に転じさせることができたという経験もある。 ○ 時短は要請しないが、飲食店などを利用する方に対しては、4 人までの少人数、短時間、深酒せず、大声を出さず、会話はマスクという行動の実践をお願いしていくことが重要。 ● 新しい旅のスタイルについては、今回の措置を踏まえて、札幌市分の開始は当面延期することとしたい。(観光) ● 事業者に対する支援金制度について、国の制度と併せて、商工会議所等の団体を通じて周知を図る予定であり、各種融資制度やワンストップ窓口を通じた経営相談等、きめ細かく対応していく。(経済) ○ 変異株は感染力が強いと言われている中、札幌市での確認が顕著となっている。全道へのまん延が懸念され、より警戒レベルを上げた対応が必要。これ以上の札幌市内での感染拡大を防ぎ、全道への拡大を防ぐためにも重要な局面である。しっかり取り組んでほしい。 ● 本日、有識者等への意見照会を行い、明日、本部会議を開催することとしたい。(総政) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年3月26日(金) 10時00分～10時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、総政部長、観光監、保福次長、経済次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、札幌市を対象とした感染防止に向けた対策などについて本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「感染の再拡大防止に向けて」等の道案について、専門家及び有識者からは、「妥当である」とのご意見をいただいている。なお、「期間を3週間としているが、これまでの対応との一貫性を持たせるため、期間中に目標が達成された場合は、早期の終了もあり得ることを示すべき。道民のモチベーションを保つためにも必要」とのご意見があり、同様のご意見は複数の関係団体からもいただいたことを踏まえ、札幌市内の新規感染者数と病床数を目安として、「期間中の解除も検討する」という考え方を明示することとしたい。 ● そのほか、「道民に慣れや疲れが生じていることが懸念され、最近の感染事例などを基に特に注意すべき行動をわかりやすく伝える工夫を凝らすべき」、「『また自粛か』と思われないように措置の必要性について丁寧な説明をお願いしたい」、「最優先課題のワクチン接種のスケジュールに影響が出ないよう強い措置が必要」、「今が正念場なので、感染抑制のため、これまで以上に積極的なアピールが必要」といったご意見をいただいた。 ● 関係団体、市町村からは、「『対策疲れ』『コロナ疲れ』などによる道民の感染防止に対する意識の低下を懸念。札幌市と連携の上、道民や事業者が前向きに感染防止対策に取り組めるようなメッセージの発信をお願いしたい」、「変異株について、感染防止に向けて特に留意する点など、専門家の知見も踏まえてつまびらかにし、道民や事業者の不安を軽減する取組をお願いしたい」などの意見が寄せられたところであり、こうしたご意見については、今後の対策や情報発信に活かしていきたい。 ● また、「『移動する行為自体はリスクが低いこと』と『移動先での過ごし方によってはリスクが高まること』とを明確に分けた上で情報発信すべき」、「このたびの道案は、飲食店等に対する自粛要請がない一方で、公共交通に対しては多大な損失をもたらすものであり、バランスの取れた効果的な対策となるよう、再考を求める」というご意見をいただいた。 ● 道としては「感染リスクを回避できない場合」における「不要不急」の外出自粛を要請するものであり、移動自体にリスクがあるということではなく、まさに外出先での様々な場面で感染リスクを回避できるか慎重に考えていただき、それができない場合は控えていただくことを呼びかけるものであることを、丁寧に情報発信していきたい。（以上、総政） ○ 今後、さらに感染が広がり、全道へ感染拡大するおそれがあるような事態となれば、ワクチン接種にも支障が生じるおそれがあるとともに、特措法に基づく「まん延防止等重点措置」も含め、時短等のより強い措置の検討も行うことが必要となる。こうした事態に至らないようにするためにも、この3週間、感染防止行動の徹底してほしい。

- 年度末・年度始めの普及啓発の取組として、今後、人の移動もピークを迎えることから、大学や短期大学の新生等に対する啓発チラシを札幌市とともに作成した。また、体験された方の体験集を新たに作成したので、ホームページ等を通じて、周知を図り、新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識や理解を深め、感染防止への取組や差別偏見の防止に役立てていきたい。各本部長に協力を呼びかけていく。（総政）
- 変異株は感染しやすいとされ、これまで以上に感染拡大のスピードが速くなることを懸念。一方で、変異株への対策は、基本的な感染防止行動の徹底であり、従来の対策と何ら変わることはないので、改めて、これまでの注意喚起が重要。
- また、モニタリングの PCR 検査について、国などと調整を進め、道内での実施を検討すること。
- 札幌市内での外出自粛といっても、これまでと大して変わらないのではないかと受け止めもあるのではないかと思う。明日からの協力要請に当たり、札幌駅などでの街頭啓発などを実施して PR を強化してはどうか。
- 事業者の方々にとっても厳しい状況が続く。商工会などと連携して、各種支援の周知をきめ細かく行ってほしい。
- 新しい旅のスタイルについても有識者等に意見照会を行い、概ね賛成という意見をいただいた。主な意見として「小さい範囲から経済を動かしていかないといつまでも始まらない」、「しっかりした枠組みでこれだけ慎重にやるということは問題ないと思う」、「最近の感染状況を見ると札幌を外した方がいいと思う」、「現在の札幌、函館の感染状況が増えている中、この事業が原因とならないよう、感染状況によっては遅らせるのが良い、仕組みの中身は良い」「地域内や同居者との旅行でという仕組みは良い」、「問題なのは道外から来る人や対策を理解してくれない人、制限というよりも、対策を厳しくやっていくしかない」との意見をいただいた。
- 関係団体や市町村からは、「宿泊業界としては、感染防止の強化など最善を尽くしていきたいので、早期に事業実施を願う」、「札幌市内でホテル、旅館も大変厳しい状況なので、札幌市の感染状況に応じた緩和措置や段階的に圏域の解除などをお願いしたい」、「年末からこの3月まで観光事業者は耐えてきた、感染者が少ない地域での小さな旅はいいですよというシグナルの意味で支持したい」といった賛成のご意見をいただいております。他方、「圏域内に限定するとはいえ、旅行の機会を増やし、拡大を助長することにもなりかねない」、「事業を企画することは到底理解できない、慎重な対応をお願いする」といった慎重な対応を求めるご意見もいただきました。賛否の両方のご意見をしっかりと受け止め、事業の運用状況に関する情報共有を図りながら、必要な改善に活かしていきたい。（以上、観光）
- この「新しい旅のスタイル」を構築するモデル事業は、年度替わりで人の移動が活発化する中で、事業者と利用者双方が協力して、感染防止対策を徹底して行うことが必要であり、市町村はもとより、宿泊事業者等の関係者の皆さんと十分な連携を図り、「北海道の旅行は、日本最高レベルの感染防止対策をとっている」というアピールするなど、北海道観光の価値の向上に向けて、事業効果が高まるよう、しっかりと取り組んでほしい。

(以上)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月1日(木) 11時10分～11時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、中野副知事、総合政策部長、知事室長、保福部長、コロナ監、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p style="text-align: center;">〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 明日の対策本部は新年度最初の会議となる。年度替わりで新メンバーとなるが、コロナ対策には休みがないので遺漏無いよう対応をお願いします。 ○ また、企業等でも新年度の事業活動が始まるなど社会経済活動が活発化する。ワクチンの供給も開始されるなど感染拡大防止に向けて重要な時期となる。 ● 本日、宮城県、大阪府、兵庫県に「まん延防止措置等重点措置」が決定される見込み。注意レベルを上げるためにも、国の動きも見ながら、対象となった地域との往来自粛を要請していくこととする。（総政） ○ 道内においては、他県で見られるような急激な感染拡大には至っていないが、去年の経験を踏まえると油断はできない。他県の感染拡大にも十分警戒していかなければならない ● 変異株の影響により、感染が急速に拡大し、医療提供体制への負荷が急増する可能性もある。慎重にモニタリングを行い、引き続き、札幌市内における外出・往来自粛の徹底を働きかけたい。 ● 人の移動や会食機会が増加する時期を迎え、特に、年度始めの行事などにおける感染防止行動の実践について、改めて普及啓発を実施したい。（以上、総政） ○ 札幌市は人の往来が活発であり、札幌市の都市構造を踏まえると、ここでしっかりと札幌市の感染を抑制しなければならない。 ○ 変異株疑いとなったときには2回PCR検査で陽性とならなければ退院できないなどの対応が知られていない。病床に係る負荷への影響があることを理解していただくことが重要。 ○ 一方で、道内では変異株の確認が多いのは、積極的に変異株のスクリーニングを実施しているため。道民の安全や健康を守るための努力が誤って伝わっているように思う。 ● 本日から道の特別支援金の申請が始まった。一方で、国の一時支援金の方が金額も大きく、申告書類も簡素化されたことから、道内事業者の皆様には、まずは国の支援金の活用を検討いただくことを考えている。商工会議所等とも連携し、こうした支援金について幅広く周知していきたい。（経済） <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月2日(金) 10時50分～11時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、観光監、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「感染の再拡大防止」の改訂などについて、本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在、有識者等に意見照会中であるが、概ね妥当との意見を頂いている。その際、「札幌市の感染状況を見ると、外出・往来の自粛は当然」、「新学期が始まることから10代20代の感染防止の徹底が必要」「札幌市と連携して前向きに取り組めるメッセージの発信をお願いする」「不要不急の往来自粛要請について対象都府県名とともに今一度周知徹底していただき、移動によるリスクを抑制すること」「どうみん割の再開を可能な限り早期に」といった意見が寄せられたことから、今後の対策等に活かしていくこととする。 ● また、ワクチンについても「混乱を生じさせないよう適切な対応に努めてほしい」と意見をいただいたことから、引き続き、速やかな情報提供を行っていききたい。(以上、総政) ○ 「まん延防止等重点措置」においてはカラオケ設備の利用自粛が求められる。道内でもこれまでも昼カラで集団感染が発生している。カラオケ設備の利用自粛は厳しい措置であり、そうならないためにも、今から利用の際の注意喚起を改めて実施するべきではないか。 ● 以前も業界団体の協力を得て注意喚起を実施。今回どのような方法が適切か検討する。(経済) ○ 全国的に感染拡大が続いているが、全国の感染状況と比較すると、道内は急激な拡大には至っておらず、何とか踏みとどまっている。これは道民や事業者の皆様が感染防止対策に頑張っていたのおかげである。こうしたこともしっかり伝えていきたい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月7日(水) 14時25分～14時50分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、観光監、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3月27日の札幌市内における外出・往来自粛の要請から約2週間が経過。全国的に感染が拡大している中、道民の皆様のご協力により新型コロナウイルス感染症は概ね横ばいで推移している。 ○ 一方で、社会経済活動が活発化する時期となり、昨年4月の経験を踏まえると決して油断することはできない。 ● 変異株による感染の増加傾向が続いており、慎重にモニタリングを行っている。 ● 特に、札幌市内における入院患者数や重症患者数は増加傾向が続いており、医療提供体制への負荷が増していることに注意が必要。現在、宮城県、大阪府、兵庫県との往来自粛の徹底を要請しているが、全国的な感染拡大の動きは慎重に見ていく必要がある。(以上、総政) ○ 医療機能が集積している札幌市の医療提供体制の負荷の増加は札幌だけの問題ではなく、北海道全体の問題としてとらえて、道民の皆様に協力していただくことが必要。 ● 現在、重症化リスクの高い高齢者層の感染が増加していることから注意喚起が必要な状況。 ● 感染拡大の予兆の探知が必要な時期となっており、変異株に対する検査や、感染が発生していない高齢者施設等での検査に取り組んでいる。加えて、旅行者等に対する独自のPCR検査について詳細の調整を進めている。国のモニタリング検査も活用していきたい。 ● また、来週から高齢者向けワクチンの接種が開始される。(以上、保福) ○ ワクチン接種が本格化することから、地域における接種について、万全の体制でサポートしてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月8日(木) 10時35分～11時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、中野副知事、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況について本部会議に報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門家及び有識者、関係団体、市町村からは、感染状況等の認識は概ね「妥当である」というご意見をいただいているが、「3月末から4月初めにかけての人の移動の多かった時期の影響が心配なので注意が必要」「現在の対策について強く市民に発信することが必要」「札幌市内の外出自粛要請、札幌市との往来自粛などの感染防止対策に前向きに取り組んでいただけるメッセージの発信をお願い」「道民や事業者の不安を軽減するような取組をお願い」などの意見が寄せられており、今後の対策や情報発信に活かしていく。(総政) ● ワクチン接種の本格化を見据え、医学的知見が必要となる専門的な相談対応のため、今週の土曜日にコールセンターを開設することとした。なお、住民からの一般的な相談は市町村が対応する。(保福) ○ 道民の皆様が混乱しないよう、どこに問い合わせれば良いのか、わかりやすく広報してほしい。 ● カラオケ設備のある飲食店等の集団感染の発生を踏まえ、関係団体等を通じて、飲食を主として業としている店舗に対して感染拡大防止対策の徹底を依頼する文書を発信することとした。(経済) ● 集団感染が発生した上川総合振興局においては、振興局の保健師を旭川市に派遣するなど集団感染対策に取り組んでおり、市と協力して繁華街の飲食店に対して注意喚起を行う予定。(総政) ○ カラオケの利用自粛を要請しなければならない事態に至らないよう、今の段階で対策を徹底することが重要であり、その趣旨をしっかりと伝えてほしい。 ○ 大阪府における感染が急増しており、昨日「医療非常事態宣言」が発出された。まん延防止措置等重点措置区域となっている都府県との往来自粛を要請しているが、北海道から大阪府をはじめ関西圏を訪問し、感染することにより、関西圏の医療提供体制の負荷を増加させてしまう。特に関西圏との往来については、慎重に検討いただくことが重要。 ● 明日にでも東京都などへのまん延防止措置等重点措置が決定される可能性がある。(総政) ○ 正式に決定された場合には、改めて本部会議を開催して必要な対策の見直しを行ってほしい。また、ゴールデンウィークは人の移動が活発化することから、早急に対応を検討してほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月9日(金) 9時30分～10時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、職員監、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「感染の再拡大防止に向けて」の改訂を本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日、「まん延防止措置等重点措置」を実施すべき区域として東京都、京都府、沖縄県が決定される予定。基本的対処方針においても対象地域に対しては不要不急の都道府県間の移動を極力控えるよう促すことが求められる見込み。道としても、本日、本部会議において当該都府県との不要不急の往来自粛を要請したい。（総政） ● 職員も対象地域への出張について慎重に対応することが重要。緊急度等も考慮した上で、最小限の行動となるよう適切に対応するよう求めたい。（総務） ○ 「まん延防止措置等重点措置」の対象地域は、医療がひっ迫している地域。北海道から訪問して感染すると、その負荷を増すことにつながることから、今は慎重に判断し、行動すること。特に昨日も話をしたが、関西圏との往来は慎重にも慎重を重ねた検討をすることが重要。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月13日(火) 11時00分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月17日以降の対策の取扱いに向けて、札幌市と協議を進めている。3月27日以降、若干減少した時期もあったが、最近は再び増加傾向が見られる。特に感染者の増加以上に入院患者の増加が続いていることから、引き続き、対策を取っていく必要があると考えている。 ● また、ゴールデンウィークに向けて、警戒レベルを上げていく必要がある。ゴールデンウィーク期間中の対策についても検討を進めている（以上、総政） ○ 長期に渡る対策において、マスク着用は浸透してきているが、手指消毒などは一時期と比べると意識が薄れがちになってきているのではないかと。 ● 札幌市とは、共同での飲食店の訪問や経済界に対する改めての協力依頼などの実施について話を進めている。（経済） ● 教育関係団体とは、基本的な感染防止対策の徹底について、共同のメッセージを発出する方向で協議を行っている。（教育長） ○ 全国的な感染拡大、変異株の増加など、本道を取り巻く環境は極めて厳しい。札幌市以外の地域はこれまで何とか抑えているが、ゴールデンウィークにおいてより一層対策を徹底していかなければならない。旭川市で感染者数が増加しており、市と連携して対策に取り組んでほしい。 ● 旭川においては特定の集団感染から連鎖する形で感染者数の増加が見られており、現在、集団感染の抑え込みや濃厚接触者の特定など市への支援を行っている。（保福） ● 上川総合振興局においても旭川市と連携した繁華街対策を実施する予定と聞いており、状況についてはフォローしていく。（総政） <p style="text-align: right;">(丁)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月14日(水) 14時40分～15時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「感染の再拡大防止に向けて」などの改訂を本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市と協議を行い、4月17日から引き続き感染リスクを回避できない場合における外出、往来自粛を要請することとしたい。 ● 札幌以外の地域についても、全国的な感染拡大が続く中でゴールデンウィークを迎え、更なる対策の徹底が必要であることから、感染防止行動の実践の徹底や大人数での会食が避けられない場合の旅行の自粛、花見の際の注意喚起等を行うこととしたい。 ● こうした協力要請に合わせ、札幌市と連携した変異株への監視の強化やすすきのにおける見回りを実施するとともに、全道域で空港などにおける来道者に対する注意喚起、教育施設や道立公園における対策の徹底に取り組んでいく。 ● 期間については5月14日までの4週間としたい。(以上、総政) ○ これまでの対策は3週間としていたが。 ● 3週間にゴールデンウィークの1週間を加えて4週間とするもの。(総政) ○ これまでの3週間、外出自粛等で忍耐を強いられて、これからまた自粛が続くとなると、これ以上何をすれば良いのかという思いを持つ方が出てくる。 ○ 昨年11月からの感染拡大においては、道民の皆様の感染防止行動の実践により、爆発的な感染拡大を回避し、感染者数を減少させてきた。今も全国で感染が再拡大する中で道民の皆様に感染リスクを回避する行動を実践していただいたことにより何とか踏みとどまっている状況。 ○ ここで危機意識をもう一段高めていただき、これまで取り組んでいた対策を改めて徹底していただくことが感染の再拡大防止につながる。 ● 明日、札幌市長との面談を調整している。知事のお話にあったように、今必要なのは危機意識を上げて、これまでの対策を徹底していただくことが重要であることから、そうした思いを共有できるよう、札幌市と共同メッセージを発出することも検討したい。(総政) ● 4月16日から道・市共同での飲食店訪問を実施する。(経済) ● この週末には医療関係4団体合同での記者会見が予定されている。そこでの議論を踏まえながら、知事と共同でのメッセージも検討したい。(保福) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月15日(木) 10時40分～11時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「国の基本的対処方針の変更」などについて本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門家及び有識者、関係団体、市町村からは、感染状況等の認識は概ね「妥当である」というご意見をいただいているが、「毎週のモニタリングを踏まえ、感染状況が解除基準を下回れば早期の解除も検討すべき。感染状況が改善しない場合は短期間で対象を限定したアラームの強い措置についても検討すべき」「改めて道民に対して行動変容を強く呼びかけてほしい」「不要不急の往来自粛要請について対象都府県名とともに道民に今一度周知していただき、移動による感染拡大リスクを抑制していただきたい」などの意見が寄せられており、今後の対策や情報発信に活かしていく。(総政) ● 道庁でも4月19日から「テレワークデイズ2021」としてテレワークや時差出勤を推進する。テレワークの推進を経済界に対しても呼びかけることとしており、道が率先して取り組み、職員の感染リスクの低減など、感染の抑制に結び付けていきたい。(総務) ● 来週、学校関連の25団体で初めての連絡会議を開催する。関係者やその家族に対しても感染防止対策の徹底を呼びかけ、当該関係機関が一丸となった取組を進めることとしている。(教育長) ○ 感染症との闘いが長期化している。こういう時こそ、今一度原点に立ち返っていただき、基本的な感染防止行動を確実に実践していくことが重要となる。 ○ 道としても変異株の検査を全国で一番となるくらい実施している。これを引き続き実施しながら、飲食店への見回り、空港での情報発信などあらゆる場面での啓発に取り組んでほしい。 ○ また、経済団体に求めるだけでなく、テレワーク等は道庁が率先して取り組まなければならない。全庁一丸となって取り組んでほしい。 ● 4月16日に「まん延防止等重点措置」の対象区域に埼玉県、千葉県、神奈川県及び愛知県が追加される見込み。追加された場合には、大阪府や東京都などこれまでの区域に加え、埼玉県、千葉県、神奈川県及び愛知県との往来自粛についても道民の皆様にも改めて協力を要請することとした。(総政) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月16日(金) 13時30分～14時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、国の分科会において、再拡大防止に向けた指標が示され、早期探知のための考え方などを参考に感染状況について各都道府県でリスク評価をすることとされた。(総政) ○ 新たな指標に基づいたモニタリングはすぐに開始し、次回の本部会議においては、新たな指標を踏まえた感染動向を報告するなど、速やかに対応を進めること。 ● 本日、埼玉県、千葉県、神奈川県及び愛知県がまん延防止等重点措置に追加されることから、不要不急の往来を控えることを要請することとし、ホームページはもとよりSNSなどで周知を図るほか、市町村や関係団体に対し、注意喚起の協力についてお願いをしていきたい。(総政) ● 本日で19～21日にかけて札幌市内6地域の無作為に抽出した飲食店を、札幌市と連携して個別に訪問する予定。感染防止対策の呼びかけを行い、飲食の場面における注意レベルを引き上げていきたい。(経済) ○ 私も本日の出発式に出席する。飲食の場面における感染防止対策は極めて重要であり、事業者、利用者双方が危機意識を高めて対策に取り組んでいただけるよう、札幌市との連携を強化してしっかり取り組んでほしい。 ○ 道内では、入院患者も昨日で500名を超えるなどぎりぎりの状況が続いている。昨日の本部会議で今後の対策を決定したが、この1か月が本当に重要な時期。最大限の警戒をしていかななくてはならない。人の移動が活発になるGWにおける感染防止行動の徹底、基本的な感染防止対策を実践し、定着するよう、市町村や関係団体と連携して取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月19日(月) 10時00分～10時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日、札幌市の新規感染者数の10万人あたりの人数が25人を超える可能性がある。変異株への置き換わりが進み、新規感染者の増加が続いている。特に、通常のけがや救急救命などへの影響も懸念される事態となっていることに危機感を持っている。 ● 札幌市長も市内の感染者が10万人あたり25人を超えるような状況となった場合には、「まん延防止等重点措置」を含め、時短等のより強い措置の検討が必要であると述べている。 ● 全道の感染者の約8割、変異株も8割以上が札幌市内となっている現状を踏まえると、市内の感染を抑制していくことが重要。(以上、総政) ○ これから人の移動が活発化するゴールデンウィークの期間を迎え、最大限の警戒が必要。これまで感染防止行動の徹底をお願いしてきたが、市中感染が広がっている札幌市内の感染状況を踏まえると、これまでとフェーズを変えていくことが必要。 ● 札幌市内において人との接触機会の低減を徹底していくことが必要。(副知事) ● 現在、札幌市とは夜間の人流を抑える観点から、飲食店における時短要請について、支援金の考え方を含めて協議を行っているところ。(経済) ○ 全国的に感染拡大が続く中で、これからゴールデンウィークを迎える。これまでの対策の一層の強化が必要であり、接触機会の低減に向けては、あらゆる対策の検討を行うとともに、まん延防止等重点措置についても、札幌市と認識の共有を図りながら、国との情報共有をより一層密にしておくこと。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月21日(水) 15時00分～15時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日の秋元札幌市長との意見交換を踏まえ、ゴールデンウィーク期間中の特別対策として、一段強い措置を実施する方向で有識者等のご意見を伺っていききたい。 ● 札幌市内の感染状況は市中に感染が広がっていることから、これまでの感染リスクの回避を徹底する段階から、人との接触機会を抑える段階と位置づけて、外出自粛については「感染リスクを回避できない場合」という条件をとり、一律の外出自粛を求めることとする。 ● また、先日の知事の指示を踏まえ、国の分科会で示された新たな指標に基づくモニタリングについて、今回の本部会議から共有することとした。(以上、総政) ● 人との接触機会を低減させ、特に感染リスクが高いとされる飲食の場面、夜間の人流を抑える観点から、札幌市内全域を対象に飲食店の営業時間短縮を検討。具体的には、期間は準備期間を考慮し、4月27日からとし、お酒の提供は午前5時から午後8時まで、営業時間を午前5時から午後9時までとしたい。 ● 支援金については、国において取扱いを見直したことから、売上高などに応じた額を支給する方向で調整している。また、札幌市においてコールセンターを設置して対応する方向で調整している。 ● また、国の制度などを活用し、きめ細かな対応を行っていききたい。(以上、経済) ○ 営業時間の短縮のみに関心が集まり、日中の外出は問題無い、といった受け止め方をされてしまうことに注意が必要。実際に他県では、昼間の外出が減らない、路上で飲酒する、といった事例が見られている。 ○ 外出自粛の実効性を高めるためにも、出勤者数の抑制、公共施設の利用制限など、緊急事態措置やまん延防止等重点措置のうち、前倒しのできるものについて検討を行い、独自に取り組んでいくことが必要。 ● 公共施設の利用制限についても札幌市と協議をしている。道としては、札幌市内の13の道立施設について、知事公館など4つの施設を休館とする。他の施設も感染対策を再徹底するなどした上で、利用時間の短縮などを実施する。(総務) ● 学校の部活動において集団感染が広がった事例もあり、学校が必要と判断した場合を除き、部活動は原則中止とする方向で検討。 ● また、1月から延期した成人式を5月に開催する市町村がある。式典における感染対策はもとより、式典前後の飲食の自粛などについて注意喚起を行っていく。(以上、教育)

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 道全体の新規感染者数が10万人あたり13人を超える状況となった。まん延防止等重点措置が適用となった場合には、飲食店の見回りなど体制の整備が必要。新たにどのような対策が必要となるのか検討を行うとともに、札幌市とも改めて認識を共有し、すぐに動けるよう準備を進めておくこと。● 国とは、道内の感染状況等について共有を図っている。他県の事例を見ると、これまで国のステージ3相当を超えても、すぐにはまん延防止等重点措置の適用とはなっていない例が多いが、引き続き、国との連携を図っていきたい。（総政） |
|--|---|

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月22日(木) 15時00分～15時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、観光監、財政局長、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長、教育部長他
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在、ゴールデンウィーク特別対策について、有識者、専門家等に意見照会を行っている。道内の感染状況等は厳しい状況が続いており、明日対策本部を開催して、速やかに対策に取り組んでいきたい。(総政) ● 経済団体と連携して、出勤者削減の取組を進める。テレワークや休暇の取得促進に加え、時差出勤など、接触機会の低減に繋がる取組も積極的に推進していきたい。(経済) ● 4月23日に「子供たちの命と学びを守る共同宣言」を教育関係機関25団体と連名で発出する。各振興局においても教育局等と連携の上、感染防止に協力いただくようお願いする予定。(教育) ○ 全国的な厳しい感染拡大、市中感染が広まっている札幌市内の感染状況を踏まえ、人と人との接触機会を低減させていく段階である。実効性を高めていくため、緊急事態措置等も一部先取りした対策をパッケージとして取り組んでほしい。 ● 「新しい旅のスタイル」が4月末で終了予定。これまで、宿泊事業者における感染防止対策はしっかりととられており、感染意識の向上や感染防止行動の実践にも寄与している。一方で、感染防止策への意識付けが必要な利用者も一部存在しており、黙食・黙浴などをさらに徹底する必要がある。こうした状況について整理し、今後の対応について検討する。(観光) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月23日(金) 10時30分～11時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「感染の再拡大防止に向けて」などについて本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日開催される政府対策本部において、緊急事態宣言が発令され、4月25日から5月11日までの17日間、東京都、京都府、大阪府及び兵庫県が対象区域とされる予定。 ● 緊急事態宣言の発令に伴い、基本的対処方針の内容が大きく変更される動きがある。特にこれまで実施されてきた「まん延防止等重点措置」の内容についても強化される見込み。（以上、保福） ○ 本日、10万人あたり15人を超える状況となった。札幌市における厳しい感染状況等に鑑み、まん延防止措置等重点措置について、国の要請に向けて、速やかに検討を進めてほしい。特に、本日変更となる基本的対処方針の内容を踏まえ、改めて札幌市と協議を行うことが必要。しっかりと検討を進めてほしい。 ● ゴールデンウィーク特別対策について、有識者、専門家、市町村、関係団体からは概ね妥当という意見をいただいている。 ● 「より丁寧な説明で感染対策の強化について理解を求めることが大切」というご意見をいただいたことから、対策の考え方に「できる限り外出や往来を控える」という表現を加えて周知に努めたい。他にも「ゴールデンウィークは子供向けのイベントも多く感染防止対策の徹底などの注意喚起が必要」という意見もいただき、大規模な集客施設における感染防止対策の徹底についてもお願いすることとしたい。 ● また、市町村や関係団体からは「「まん延防止等重点措置」の適用は国のタイミングに遅れないように」との意見のほか、「テレワークや時差出勤は数値目標を設定し取り組むなど効果的な対策が必要」との声が寄せられた。「まん延防止等重点措置」は基本的対処方針の変更を踏まえ、札幌市との協議を進めていきたい。テレワーク等については意見を踏まえ、6割の実施という目標を明記することとした。 ● 公共施設に関する記載内容について指摘があったので、道立及び市立施設の取組であることを明記したほか、「部活動について学校が必要と判断する場合の中に練習試合を含めてほしい、周知や準備期間について考慮してほしい」といった意見をいただいたことから、準備期間や判断の参考となるような事例も追記することとした。その他の意見についても、今後の対策に活かしていきたい。（以上、総政）

- 全国的な感染拡大は深刻化しており、警戒をより一段高めていくことが必要。人の移動が活発化するゴールデンウィークの期間には最大限の警戒をしなければならない。特にこのたびの対策は、これまでの対策とは目的が大きく異なることにご理解をいただくことが必要。
- また、道内各地でも、引き続き、感染が確認されており、決して札幌市内だけの問題ではない。札幌市から全道への拡大を防ぐためにも、危機感を道民全員で共有しなければならない。
- 最近の感染事例においては、普段一緒にいない友人同士の会食からといった行動歴が確認されており、感染リスクの高い飲食の場面についても、引き続き、注意が必要。

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月26日(月) 15時00分～15時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、総務部長、 総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、観光監、財政局長、 政策局次長、感染症対策局長、地域支援担当局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「感染の再拡大防止に向けて」などについて本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月24日からゴールデンウィーク特別対策が開始した。飲食店の営業時短要請が27日からであり、24、25日の2日間の人流は大幅な減少には至っていない。 ● まん延防止等重点措置について、今般の政府の基本的対処方針の見直しにより、終日酒類提供を行わないよう要請することなど緊急事態措置に近い非常に強い措置が盛り込まれた。国に要請を行う場合には、道としての措置の考えを示す必要があると考えており、札幌市とも調整を進めていく。慎重にモニタリングを行いながら、速やかに対応できるよう検討を進めていきたい。 ● 明日から時短要請が始まる。また、29日からゴールデンウィークも始まることから、明日対策本部を開催し、本部員で「まん延防止等重点措置」の検討状況を共有するとともに、特別対策の徹底について改めて認識を一つにして取り組むこととしたい。(以上、総政) ○ 現在、強い措置を実施しているが、「まん延防止等重点措置」の要請を行う必要がある場合に、躊躇無く実行に移せるよう、万全の準備を進めてほしい。 ○ 人との接触機会の低減に向けては、道職員が率先して取り組んでいかなければならない。ゴールデンウィークの機会を活用して連続した休暇を取得するなど、出勤抑制を徹底してほしい。 ● 「新しい旅のスタイル」について、4月の実施状況を取りまとめた。約3,500通の利用者アンケートでは、宿泊施設の感染防止対策については、満足・やや満足の割合が97%となった。残りの3%の理由としては、他の利用者の感染防止対策への意識徹底を求める意見が約46%となった。宿泊事業者における感染防止対策はしっかりと行われており、利用者の評価も高いが、一方で、利用者の黙食・黙浴などを更に徹底させる必要があると考えている。 ● 不要不急の都道府県間の移動の自粛や札幌市との往来自粛を呼びかけているところであるが、強制力を伴うものではなく、ゴールデンウィーク中には、多くの旅行者が来道する可能性がある。ここでしっかり感染防止対策の更なる徹底、定着を図り、感染症に強い北海道観光のモデルを促進していくことが必要。新たな対策を加えた上で、新しい旅のスタイルの取組継続について、専門家・有識者の意見を聞いた上で判断していきたい。(以上、観光) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月27日(火) 10時00分～10時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、本部会議でモニタリング状況などについて情報共有することとした。
発言者及び主な発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染状況等について、有識者等から概ね妥当であるとのことをご意見をいただきました。その際、「感染者数が減らない時には速やかにまん延防止等重点措置を国に要請すべき」「ワクチン接種の協力についてわかりやすい言葉で伝えてほしい」という意見が寄せられました。 ● 札幌市とまん延防止等重点措置の具体的措置について検討を進めている。特に、酒類提供、大規模集客施設、市内交通の扱いなどの調整が必要となっている状況。(以上、総政) ○ まん防の措置は、緊急事態措置に近い非常に強い措置となる。札幌市としっかり協議を行い、万全の準備を進めてほしい。 ● 現在の措置も社会経済活動を大きく制約する強い内容である。まん延防止等重点措置のみに注目が集まるが、その検討と並行して現在の措置もしっかり取り組んでいくことが大切。(副知事) ● 本日から、飲食店の時短要請が始まる。飲食店の見回りなど札幌市と連携して取り組んでいきたい。(経済) ○ 現在お願いしている外出自粛や札幌市との往来自粛、時短などの対策の目的や意味について改めてご理解をいただけるよう、しっかりと啓発に取り組んでほしい。 ● 札幌市内の医療提供体制の極めて厳しい状況を踏まえ、道、札幌市、医療関係団体と連名で「医療従事者からの緊急メッセージ」を发出することとしたい。行動変容につなげていただくため、医療関係団体の声を伝えていきたい。(保福) ○ 自粛疲れという声も聞かれる。様々な形で現状をお伝えして、一人でも多くの方に行動変容につなげていただくことが大切。自分もビデオメッセージなどできることはどんどんやっていきたい。 ● 「新しい旅のスタイル」について、専門家、有識者のご意見を伺った。専門家等からは、「札幌市を除く条件であれば、5月の継続はやむを得ない」「利用者アンケートのやや不安・不満の項目に他の利用者の態度があげられているのは、感染防止対策への意識が高まっている証拠。新しい旅のスタイルの定着のためであれば、施設側も利用者側に声をかけやすいのではないか」といった意見が寄せられ、多くの皆様の賛同をいただいた。札幌市を対象外とした上で、その他の5つの圏域の実施期間を約1か月延長したい。(観光)

○ 札幌の感染状況が厳しい中での延長となることから、域内の移動や家族に限定していることなど事業内容を正確にご理解いただくことが大切。誤解を生まないように丁寧に情報発信してほしい。

(了)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月28日(水) 13時10分～13時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 時短要請を開始した昨日と1週間前の人流を比較すると、すすきの地区の夜間については、大きく減少している。一方で、日中については、大きな減少には至っていない状況。 ● 特別対策について、ホームページやSNSによる発信のほか、チカホや駅などでのポスター掲示・デジタルサイネージ、街頭ビジョン、関係団体を通じた周知など様々な媒体や手法により周知を行っている。パトロール強化など道警にも協力いただいている。(以上、総政) ● 昨日、札幌市内飲食店の営業時間短縮の調査を実施し、概ね85%程度の事業者が時短に協力いただいていることを確認した。(経済) ○ 日中の人流を減らしていくことが必要。札幌市内において、生活や健康に関わる場合を除いて外出を控えていただくことを改めて徹底していかなくてはならない。また、日中の人流を抑えるために今すぐにできることに取り組んでいく必要がある。公共施設の休館など対策の強化の検討が必要である。 ○ 明日からゴールデンウィークが始まる。万全の体制を整え、人流が減少せずに、感染の拡大が抑えられない場合には、連休中であっても、まん延防止等重点措置、緊急事態措置を含めた中で強い措置を検討しなければならない。札幌市及び国との協議を進め、あらゆる事態を想定した準備を行ってほしい。 ● 生徒児童の新規感染者が増加し、集団感染も続いていることから、部活動の原則中止の取扱いなど学校における対策の徹底について、改めて、各教育委員会及び市町村に通知したい。(教育) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年4月30日(金) 10時40分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、職員監、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日は休日となった影響もあり、外出自粛の要請前と比較し、日中の人流は減少が見られたが、傾向としては大きな減少には至っていない。夜間については、札幌駅、すすきの駅において大きく減少している。日中における人との接触機会を更に一層低減させることが必要な状況。(総政) ● ゴールデンウィーク特別対策を一段と強化するため、札幌市内の全13の道立施設を原則休館することとしたい。既に予約されている場合は料金を払い戻す旨の説明をした上で利用自粛に協力を求めている。また、相談業務は電話等で継続して実施していくことを検討している。(総務) ● 国の分科会において、緊急事態措置及び重点措置区域以外の都道府県のイベントの開催制限について、当面6月30日まで現行どおりとすることとされた。道としても国の方針を踏まえた対応とする。(総政) <p>○ 極めて厳しい感染状況となっている。道民の皆さんにお願いしている外出自粛は、まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言の対象地域と同じ強い要請である。この対策について、これまで以上に徹底することが必要である。人流の減少が、新規感染者の減少に繋がるまでには一定の期間が必要であるが、それを待つのではなく、感染状況及び人流の動向を慎重に見極めながら、速やかに対応できるよう札幌市及び国との協議を加速してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三重県や岐阜県がまん延防止等重点措置の要請をしているが、対策の状況を見極めるとされており、対象地域にはなっていない。まん延防止等重点措置がどのような場合に適用されるのか、必ずしも明確になっておらず、引き続き、国と情報共有を図りながら、現在の強い措置を徹底した上で、札幌市との協議を加速していく。(総政) <p>○ ワクチンの接種について、総理から7月末までに高齢者向けを終える旨の言及があった。スケジュールが不透明であるなど準備作業が困難な中で、感染リスクが高い高齢者の方々に一日も早くワクチンを接種していただくため、これまで以上に国との連携を密にしながら、万全の体制で市町村への支援をすること。</p>

● 感染状況等について、専門家等から概ね妥当であるとの意見をいただいているが、その際に「感染源を特定して、感染拡大を強力に抑えることが大切。若年層など、行動変容が特に必要な者にしっかりと伝えてほしい」「まん延防止等重点措置の国への要請を速やかに判断する必要がある」「道民がより一層の危機感を持ち、主体的に感染抑止に向けた行動を取り、この局面を乗り越えていかなければならない」といった意見が寄せられた。（総政）

（了）

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月3日(月) 10時00分～10時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日は札幌市が246人と新規感染者が急増し、道全体としても過去最多の326人となった。4月27日の時短以降約1週間経過し、人流は一定の減少が見られるが、なかなか減少が見られない時間帯やエリアもある。 ● 福岡県が5月1日に「まん延防止等重点措置」の要請を行ったが、国として具体的な動きはない。(以上、総政) ○ 昨日、西村大臣と直接話をした。札幌市と北海道の極めて厳しい感染状況や医療提供体制について伝え、危機感を共有した。札幌市長の意向もお伺いした上で、「まん延防止等重点措置」を含めた中でのより強い対策を実施していく必要がある。 ● 国の判断までに時間を要することから、現在の厳しい状況を踏まえると、「まん延防止等重点措置」の措置を独自に前倒しして実施する必要がある。(副知事) ● 飲食店の時短の前倒しについては、支援金なども含めて札幌市と協議を行っている。また、出勤者数の7割削減についても先行して実施していく必要がある。(経済) ● 札幌市は市立施設の休館や夜間のライトアップの休止などについて実施していく意向であり、本日の面談を踏まえ、そうした対策も含めて、独自対策としてまとめていきたい。(総政) ● 札幌市内の即応病床は9割が埋まっている状況。非常事態とも言える状況であり危機感を伝えるための強いメッセージを発信する方向で調整している。(保福) ○ 市長会長、町村会長にも、札幌市の極めて厳しい現状を踏まえ、札幌市への往来を控えていただくことについて、改めて協力をお願いをしていきたい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月5日(水) 10時00分～10時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「まん延防止等重点措置」の国への要請及び「感染の再拡大防止に向けて」の改定について本部会議において協議することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、専門家及び有識者等に感染状況や追加の対策について意見を伺った。概ね「妥当である」というご意見をいただいているが、「テレワーク等について、しっかり進めてほしい」「まん延防止等重点措置について速やかに国に要望すべき」「5月11日までの期間は短い」「カラオケを禁止するなど感染の機会があったところに対策を集中すべき」「往来自粛の具体的な内容をわかりやすく伝えてほしい」といったご意見をいただいた。カラオケについて対策に反映するとともに、その他の意見についても周知徹底など丁寧な説明をおこなっていききたい。 ● また、感染状況等について概ね妥当との意見をいただいたこともあり、本日の本部会議において、「まん延防止等重点措置」の国への要請、道独自の強い措置の実施について協議することとする。(以上、総政) ● 時短の要請について、まん延防止等重点措置適用となると支援金の額は1日3万円となる。道としてはまん延防止等重点措置適用前ではあるが、国の基準を踏まえて、支援金を支給する方向で調整を進めている。 ● 周知期間が短くなるが、混乱を招かないよう札幌市と連携して丁寧な説明を行っていく。(以上、経済) ○ 札幌市の感染者が全道の7割以上を占め、全道の感染者数を大きく押し上げている状況の中、「まん延防止等重点措置」は地域を限定した最も強い措置となるが、現時点で直ちに適用される状況にはない。 ○ 全国的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が5月11日までとなっている。11日までとなっている道の特別対策にしっかり取り組みながら、全国的な動向も見極め、5月12日以降の対策についても、具体的な検討を進めること。 ○ 「まん延防止等重点措置」の適用を受けた場合には、人数制限や営業時間短縮などより強い要請を行うこととなる。集客施設やイベントに対して、感染防止対策の徹底を働きかけていきながら、関係団体を通じた周知徹底など準備を進めてほしい。 ● 本日、札幌市や医療関係団体と連名で「札幌市医療非常事態宣言」を發出し、札幌市内におけるできる限りの外出・往來の自粛や飲食の場面における感染者リスクの低減について市民の皆様呼びかける。(保福) ○ 札幌市以外の地域においても強い危機感を共有し、札幌市との往來を控え、地域における感染防止行動の実践することを徹底すること。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月7日(金) 9時15分～9時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、 総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日夕刻の政府対策本部において、本道が「まん延防止等重点措置」の対象地域となることが決定される見込み。 ● 前回、国の基本的対処方針の内容が大きく変更となった。今回も基本的対処方針にどのような修正が行われるか見極めた上で、具体的な措置について、有識者等に意見照会を行うこととしたい。(以上、総政) ○ 昨日、西村大臣と話し、札幌市がかなり厳しい状況にあり、北海道全域に拡大する恐れがあるという状況とともに、「まん延防止等重点措置」に基づく強い措置を取る必要があることについて認識を共有した。 ○ 基本的対処方針の変更により、「まん延防止等重点措置」は地域を限定した緊急事態措置とも言える極めて強い措置となった。何としても札幌市内における感染拡大を食い止め、全道へのまん延を防いでいくことが必要。 ● 酒類提供自粛については、居酒屋やバーなどにとっては実質的に休業要請と同じであり、事業者に対する影響が大きい。一方、昼間の人流が減少しておらず、現在の厳しい感染状況を踏まえ、昼の人流をさらに減らすためにも、酒類提供の終日自粛を要請する方向で最終調整している。なお、卸業者等への支援についても検討しなければならない。(経済) ● 運動会や修学旅行などの学校行事について、中止、延期、縮小を要請することで調整している。(教育) ○ 石狩振興局管内も感染者の増加が見られる。札幌市との往来の多い地域であり、必要な対策について検討してほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月8日（土） 11時00分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「『札幌市医療非常事態宣言』を踏まえた重点措置」及び「感染拡大防止の取組」について本部会議において協議することとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「重点措置」の内容等について、有識者等から概ね「妥当である」という意見をいただいた。その際、「ワクチン接種体制の構築、早期接種が重要」「テレワークや時差出勤は札幌市役所や道庁が先例を示すべき」「強いメッセージの発信や効果的な広報活動をお願い」といった意見をいただいております。今後の具体的な取組や丁寧な情報発信などに反映していく。なお、「テレワーク等の目標が分かりにくい」との意見があったことから、表現を修正することとする。（総政） ● 事業者に対する支援金については、国の基準額を踏まえて調整する。（経済） ● 今後、飲食店等は特措法の過料の対象となる。一方で、すぐに過料を課すのではなく、口頭や文書での行政指導を経た上での手続になる。見回りなどをしっかり行い、丁寧に説明を行っていく。（保福） ● 石狩振興局においては、今回のまん延防止等重点措置を踏まえて、事業所等に対し、必要な感染防止対策の働きかけを行っていく。（総政） ○ 飲食店等に対しては、過料の対象となる強い要請となる。皆様にご理解とご協力をいただけるよう、これまで以上に札幌市と緊密に連携を図り、見回りなどの対応に全庁をあげて取り組むこと。 ○ 石狩振興局のみならず、各振興局においても、札幌市との往来をできるだけ控えること等を改めて徹底してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月10日(月) 10時50分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、中野副知事、教育長、総政部長、知事室長、地域振興監、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>(冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5月8日から全道の新規感染者数が最多を更新し、札幌市以外の地域においても急速に感染が広がっている。通常であれば週末や月曜日の感染確認は少なくなるが、既に多くの感染者が出ている。9日には、札幌市以外の新規感染者数も警戒ステージ4の目安となる10万人あたり15人を超えた。(総政) ● 変異株の置き換わりが相当程度進み、感染拡大のスピードが早くなっている。また、その範囲も大きく広がっている。札幌市周辺の地域では市中での感染が広がっている状況と言える。 ● 札幌市の医療は既に限界と言える状況であるが、全道各地で感染拡大が進み、地域の医療提供体制はもともと脆弱なところが多く、基幹病院の病床使用率も上がっている。今後、更なる患者の急増が続くと札幌以上にひっ迫した状態になることが想定される。このため、本日、全道の病床について最高レベルのフェーズ3への移行することとする。(以上、保福) ● 変異株の置き換わりが進んでおり、市中での感染も広がってきている。さらに、医療提供体制の厳しい状況を踏まえると、少なくとも全道で外出自粛を要請する段階にきているのではないかと。(副知事) ● これまで札幌市が全道の感染者数を押し上げてきたが、札幌市以外の感染者数が10万人あたり15人を超えたことから、全道の警戒ステージの移行についての検討が必要な状況。(総政) ○ 一段と厳しい局面になってきたものと認識。まずは、札幌市内において外出を控えていただく。そして、札幌市外への移動を控えていただく。このことを徹底しなければならない。 ○ 札幌市以外の方々においても、札幌市への移動を控えていただくことを併せて徹底していかなければならない。変異株に置き換わりが進んでいるということは、どこでも急速に感染が拡大する恐れがある。札幌市以外の地域でも、人と人との接触を抑えていかなければならない局面にきており、全道で外出を控えていただくことについて検討を進めてほしい。これは強い要請となり、影響も大きい。市町村長のお考えをお伺いした上で判断していきたい。 ○ また、札幌市に隣接し感染が拡大している地域等については、より強い対策が必要。そうした対策についても関係する市町村長との協議を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月12日（水） 10時40分～11時20分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市内の人流については、一定程度減少が見られているが、ゴールデンウィーク期間中は昨年の2倍程度となっていた。 ● 全道域での不要不急の外出自粛について、市町村は概ね賛成となっている。また、感染が拡大している地域については、飲食店の時短など、より強い措置についても協議している。感染状況に加え、市町村長のご意見、人流などを踏まえ、具体的な措置について検討を進めている。（以上、総政） ● 道民の皆様と危機意識を共有していくため、北海道市長会、北海道町村会、北海道医師会と連名で全道を対象とした「北海道医療非常事態宣言」の発出について、タイミングも含めて検討している。（保福） ● 時短営業を要請している札幌市内の飲食店に対して、本日から感染防止対策の実施状況について見回りによる確認を行い、働きかけを行っていく。（保福） ○ 全道域で対策のフェーズが変わってきた。感染が急速に拡大している地域においては、札幌市に加えてまん延防止等重点措置の対象区域とすることも含めて検討してほしい。 ● 札幌市は市限定の緊急事態宣言を発出できないかとの意向を有している。（副知事） ● 緊急事態宣言は、基本的には都道府県を単位として国が発令するものとされている。 ● 緊急事態宣言となると、酒類を提供する飲食店等に休業要請を行うこととなる。仮に緊急事態宣言が全道一律の措置を求められるとなると、全道で休業要請を行わざるを得ない。（以上、総政） ● 運用が明確になっていない。法律の趣旨からは、都道府県を単位とするのが通常の解釈となるが、札幌と同様の措置を全道で一律適用させるのは地域の理解を得られないのではないのか。（副知事） ● 広大な北海道は地域ごとに感染状況が異なっている。地域特性を考慮し、知事の判断で地域を限定した取組を行うなど、運用の考え方を明確にするよう働きかけているところ。（総政） ○ 引き続き、緊急事態宣言の運用について明確化するよう国に求めていくとともに、緊急事態宣言となった場合も想定した検討を行ってほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月13日(木) 19時00分～19時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道各地に感染が広がっている状況を踏まえ、全道をステージ4とし、外出自粛といった強い措置を講じていくこととする。 ● 特に、札幌市との往来などにより感染が拡大している石狩振興局管内及び小樽市については、札幌市と同様の措置を講じていく必要がある。また、感染拡大が一定期間継続している旭川市について、道北の中核地域であり、道北の医療の中心でもあることから、他への波及も考慮すると、ここで強い対策を取ることが必要。 ● これらの地域については、まん延防止等重点措置を実施する区域に追加する方向で、有識者等に対する意見照会や国との協議を行っていく。(以上、総政) ● 全道域での外出自粛等の措置が実施される場合は、「新しい旅のスタイル」については、全道で事業を停止する。(観光) ● 札幌市については、本日、市の本部会議が開催され、札幌市長から「今すぐにでも「緊急事態宣言」を発令すべき状況にあることから、国や北海道への働きかけを行う」旨の発言があった。(以上、総政) ○ 札幌市長の意向を改めて直接確認する。その上で、本日の議会議論も踏まえ、札幌市を対象とした緊急事態宣言の発令を国に求める。札幌市が感染の中心であり、全道の感染状況が一様ではないことを強く主張していく。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月14日(金) 11時15分～11時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今朝、西村大臣から、分科会における意見を踏まえ、北海道についても緊急事態宣言を発令することとなったと連絡があった。緊急事態宣言は都道府県を単位として発令されるが、西村大臣は「北海道は広いので特別な対応が必要」とも言っており、本道の広域性を踏まえ、地域を限定した重点的な対策を至急検討してほしい。 ● 今夕の政府本部会議で決定される見込みであるが、国の基本的対処方針がどのようなものとなるのかを見た上で、措置内容を検討する。 ● 小樽市、石狩振興局管内及び旭川市について、「まん延防止等重点措置」の枠組みが無くなることから、感染状況等を踏まえ、札幌と同様の措置を取る方向で検討する。 ● その他の地域についても、感染者が増加している地域もある。感染状況等を踏まえ、札幌市、石狩振興局管内、小樽市、旭川市とそれ以外の区域を分けて、対策を検討していく。(以上、総政) ● これまでの基本的対処方針に基づくと、札幌市等においては、酒類及びカラオケ設備を提供する飲食店に休業を求めることになる。大規模集客施設の休業の取扱いについて検討が必要。支援金の取組も含めて検討しなければならない。(経済) ○ 検討の時間も限られている。道民、事業者の皆様の準備の時間も考慮し、できるだけ速やかに検討を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月14日（金） 15時30分～16時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	緊急事態宣言の発令を踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態宣言の発令を踏まえ、道における警戒ステージを5に移行し、全道域で人と人との接触を徹底して抑えるための対策を講じていくこととし、全道の皆様に「できる限り外出を控えていただく」「外出しても夜8時まで」とする要請を行うこととする。 ● 緊急事態宣言は全道が対象となるが、本道の広域性を踏まえ、札幌市、石狩振興局管内、小樽市、旭川市について、地域を限定した重点的な対策を実施する。 ● 現在、全国知事会から情報提供のあった基本的対処方針に基づき、札幌市等と措置内容についての協議を進めており、対処方針における最も厳しい措置を取る方向で調整している。 ● そのうち、大規模集客施設については、時短の要請に加えて、人の動きを抑制する観点から、土日祝日の休業を要請する方向。 ● その他の地域については、感染拡大の主な起点と指摘される飲食の場面における人との接触機会を減少させるため、飲食店等の時短を要請する。 ● 公立施設について、道立施設については全道で原則休館とする。市町村立施設については、札幌市、石狩振興局管内、小樽市、旭川市は原則休館、その他の地域は感染状況や施設の目的を踏まえて、順次休館等を検討いただくこととしたい。（以上、総政） ● 教育関係では、全道において学校行事の中止・延期・縮小や部活動の原則中止とすることとし、札幌市等については、それらに加えて、分散登校とオンライン学習を組み合わせたハイブリッドな学習の実施を進めていく方向で調整している。（教育） ● 引き続き調整を進め、基本的対処方針の確定を踏まえ、有識者等のご意見を伺うとともに、国との協議を行っていきたい。（総政） ○ 私権の制限に繋がる非常に強い措置となる。できる限り丁寧な手続を取りながら、かつ、できるだけ市町村や事業者の方々が準備時間を取ることができるよう、速やかに進めてほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月15日（土） 10時40分～11時20分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道における緊急事態措置」について本部会議で協議することとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道の考え方について、有識者、専門家等から概ね妥当と意見をいただいている。その際、「ワクチン接種の体制整備、幅広いPCR検査対応を推進してほしい」「事業者は出勤7割削減などの一般的事項は意識していないので一層の周知が必要」といった意見をいただいた。 ● なお、特定措置区域と措置区域の区分けについては、「特定措置区域により強固な対策を重点的に実施することは必要」といった意見をいただくなど妥当であるとの反応であるが、2つの市町村から「全道一律の措置とすべき」という意見もあった。 ● その他「飲食店等に対する営業時間短縮要請の開始時期など事業者の混乱が生じないよう迅速・丁寧な周知が必要」「緊急事態措置のアナウンス効果を高めることが必要」といった意見をいただいております、丁寧な情報発信等を行っていききたい。（以上、総政） ● 休業や時短の要請に協力いただいた事業者の方々には、国の基準額をベースに支援金を支給する方向で調整している。なお、対策本部時までには最終決定することが難しいことから、措置内容に国の基準額を付記する。 ● また、要請期間については5月16日からとしているが、遅くとも18日からご協力をいただくようお願いしていききたい。（以上、経済） ● 本日、市長会、町村会、医師会と連名で、北海道医療非常事態宣言を発出する。「できる限り外出はしない」といった強いメッセージを伝えていききたい。（保福） ○ 「緊急事態宣言」が発出されたことを重く受け止めなければならない。最大限の危機感を持って、5月31日までに感染を食い止めるという強い信念で、徹底的な対策を展開してほしい。 ○ また、短い周知期間での要請となる。混乱が生じないよう、あらゆる機会を活用して、丁寧に対応をしていくこと。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月19日（水） 14時10分～14時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市内の人流については、緊急事態宣言前と比較して昼、夜ともに減少しているが、前回の緊急事態宣言時の一番低い時との比較ではもう一段の減少が必要。（総政） ● 職員の出勤抑制の取組については、本庁で出勤抑制 23.9%、時差出勤 19.7%となっている。明日から道のホームページで公表することとし、毎週更新する予定。（総務） ● 飲食店等に対する見回りの結果、これまでのところ 96%程度の飲食店等で休業や時短の要請に協力をいただいている。（保福） ○ 国の分析で、従来株から変異株にほぼ置き換わったとされている。変異株が広がっていることを前提にして、人と人との接触を徹底して抑えるために皆さんに協力いただくことが必要。 ○ 休業や時短は命令や過料に繋がる大変重い措置であり、見回りや実地での働きかけは丁寧に行ってほしい。地域においても市町村や商工会等と連携しながら、措置の実効性を確保できるよう取り組んでほしい。 ○ 自宅療養者が増加している。療養者の安全安心の確保のため、万全の体制で適切な支援を行ってほしい。 ● 食品や日用品セットなどの配布やパルスオキシメーターの貸与など実施している。引き続き、保健所による経過観察や在宅医療の提供などに取り組んでいく。（保福） <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月20日(木) 10時35分～11時05分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議に報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況等の認識については、専門家や有識者等から概ね妥当との意見をいただいている。その際、「クラスター発生施設等の周辺地域での検査体制を強化することが必要」「緊急事態宣言の延長も視野に、これまでの取組を市町村と連携して進めてほしい」「今現在公開している情報に加え、道民の注意を喚起し、対策の徹底を促す観点で振興局単位の感染状況データを付け加えられ、あらゆる機会を捉え、感染拡大防止に向けて情報発信をする姿勢を示されることを期待」といった意見があり、今後のモニタリングや情報発信等に活かしていく。(総政) ● 支援金について、5月17日に内容を決定し、振興局等を通じて周知しているところであるが、全道の事業者幅広く行き渡るよう、様々な機会を通じて周知に努めていきたい。(経済) ○ この週末は緊急事態宣言発令後初めての週末。「週末はできるだけ外出を控えていただく」ことについて、市町村とも連携しながら、しっかりと普及啓発に取り組んでほしい。 ● ワクチン接種の状況については、今週中に医療従事者のうち接種希望の20万2千人に必要なワクチンが供給される見込み。高齢者向けについては今週に入り、札幌市や道内の大都市で接種の受付が開始され、6月末までに接種に必要な量が供給される見込み。(保福) ○ ワクチン接種は道民の皆様の関心も高い。できる限り混乱を回避して、円滑かつ着実に接種を進めていくことが重要であり、これまで以上にきめ細かく市町村の支援に取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月25日(火) 14時35分～15時05分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、人事局長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の新規感染者数は10万人あたり70人を超える高い水準が続く。札幌市においては10万人あたり120人を超える極めて厳しい状況。道内の入院患者数もこれまでの最多を更新しており、札幌市内においては入院や宿泊療養施設への入所が困難となるなど医療の限界とも言える状況。 ● 人流については、全体的に減少傾向にあり、夜間の減少が大きいことが傾向として見られる。すすきの地区については昼、夜ともに人流は減っているものの、前回の緊急事態宣言時よりも人出が多い状況にあり、もう一段の減少が必要。(総政) ○ 昨日の特定措置区域の市町村長との意見交換では、感染状況に対する厳しい認識に加え、救急搬送が困難な事例が増加しているなど、地域医療に対する強い危機感が寄せられた。 ○ 緊急事態宣言期間の5月31日まで対策に全力を尽くしていかなければならない。市町村とも一層の連携を図り、地域の状況に応じた普及啓発やきめ細やかな支援など対策を徹底してほしい。 ○ 基本的対処方針において、インド株への対応強化が記載された。ゲノム検査等の対応は怎么样了か。 ● 海外から入国された方の陽性が確認された場合など、必要に応じ、ゲノム検査を実施することとしている。国の動向などを踏まえて、スクリーニング検査の実施などを含めて、検査のあり方を検討していく。(保福) ● 高校の部活動内の感染が増加傾向にある。全道大会による移動・交流の拡大に備え、一層の警戒が必要。高体連、高野連等関係団体と連携し、部活動における安全継続の取組を進めていく。(教育) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月26日(水) 10時35分～11時05分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、知事室次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議に報告することとした。</p>
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況について、専門家や有識者等から概ね妥当であるとのこと意見をいただいている。その他、有識者等からは、「ワクチン接種に関する迅速な取組を示すべき」「ワクチン接種以外に有効な方策は無いと思われる」「札幌市内の人流抑制が一番効果的と思うが、細かい分析を行い、人流が減らない原因に対する施策を打つことも必要」「確保病床の使用率を札幌市の状況も記載すると参考となる」といった意見が寄せられている。 ● また、市町村からは「緊急事態宣言の延長を前提とし、特定措置区域や道外との往来を抑制する取組を強化していただきたい」といった意見が寄せられている。これらの意見は今後の対策に活かしていく。(以上、総政) ○ 現在の厳しい感染状況や医療のひっ迫状況を踏まえると、5月31日で緊急事態宣言を終了できる状況にはなく、現在の強い対策を継続していく必要があると考えている。こうした考えを国にも伝えていかなければならない。 ○ 国の専門家からは、ワクチン接種が広く進めば、感染が抑制されるということが示されている。より速やかな接種の体制が確保されるように、庁内の体制の整備も含め、検討を進めてほしい。 ○ これからの季節、来道者が増加し、往来が活発になる。他県との往来の際の対策の強化など、国と緊密に連携しながら、検討を進めてほしい。 ● 病床確保計画について、現在最終調整中であるが、現状を上回る病床数の確保に向けて調整している。重症者用病床は減床となる見込みだが、これは国が定める重症の基準に至る前の中等症に対する効果的な治療が普及してきたことから、一部の基幹病院において、重症者用病床から中等症患者用に変更されたことによるものである。(保福) ○ 重症者用病床が減らされるといった間違ったメッセージが伝わらないよう丁寧な説明に努めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月27日(木) 13時40分～14時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 明日、政府対策本部が開催される見込み。明日示される予定の基本的対処方針を確認しなければならないが、宣言が延長される想定で道の措置内容の一部改訂を検討している。 ● 昨日指示のあった他県との往来に係る対策については、不要不急の来道については控えていただくよう道外の方に協力を求めていくこととしたい。 ● なお、道外の方に対するお願いとなることから、SNSなどでの効果的な発信や道外に拠点のある企業への働きかけなどにより対策の実効性の確保に努めるとともに、全国知事会と連携して都道府県を跨ぐ移動の際の実効性ある対策の検討について国に求めていく。(以上、総政) ○ 他都府県との往来の際の対策強化として、空港でのモニタリング検査などの実施に向けて、国と連携して検討を進めてほしい。 ● 緊急事態宣言発令の前後でカラオケのある飲食店での感染事例が複数確認されている。特定措置区域においてはカラオケを提供する店舗には休業をお願いしてきたが、措置区域においてもカラオケに対する対策が徹底されるよう検討したい。 ● イベントの開催については、感染予防が徹底されない場合は、無観客・オンライン配信での開催に加えて、延期又は中止も検討するよう要請することとしたい。(以上、総政) ● 学校での対応については、児童・生徒とその家族の感染状況を確認し、迅速かつ幅広い休業等の措置を講じるとともに、部活動は原則休止とし、全道・全国大会につながる活動に限ることとしたい。(教育) ● 国において緊急事態宣言の延長は決定されていないが、仮に延長された場合における現時点における道としての考え方として、有識者や市町村等にご意見を伺う。(総政) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年5月28日(金) 10時40分～11時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道における緊急事態措置」について、本部会議において協議することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、北海道については6月20日まで緊急事態宣言を延長することが了承され、本日夕方にも政府対策本部で決定される予定。 ● 措置の案について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その他、有識者等からは「カラオケは明らかに感染伝播の原因となっている。踏み込んだ対応を期待」「部活動の対応の考え方など、わかりやすく整理し、学校現場だけでなく、関係者に丁寧に伝えてほしい」「地域の医療提供体制は脆弱であり、保健所や宿泊療養施設への一層の支援等をお願いしたい」といったご意見があった。 ● また、市町村等からは「緊急事態宣言の延長はやむを得ないが、困窮する事業者への万全の支援策を迅速に講じるよう重ねてお願い」「ワクチン接種は感染防止と経済活動の早期回復を実現していく上で不可欠。接種体制の拡充に向けた対策を国へ働きかけるなど、迅速かつ総合的に取り組んでほしい」といった意見があり、今後の対策に活かしていく。 ● カラオケへの対策については、措置区域においても飲食店営業許可を受けている店舗でカラオケ設備を提供している場合には、その利用を行わないことを要請したい。(以上、総政) ● 先日指示のあったワクチン関係の体制整備については、保健福祉部にワクチン関連施策を統括し、戦略的に展開していく部門と、市町村と連携しながら施策を機動的・効果的に実施・推進していく部門の2つを編成し、6月のできるだけ早い時期に整備を図っていききたい。 ● 宿泊療養施設について、本日札幌市内4棟目の宿泊療養施設を開設したほか、来週にも旭川市内2棟目となる宿泊療養施設を開設する予定である。(以上、保福) ○ 一部の指標では改善の兆しも見えてきたが、全体としては未だ厳しい状況が続く。道民の皆様、事業者の方々には、引き続き大きなご負担をおかけするが、道民の皆様の命と健康を守り、感染者数の減少傾向を確かなものとしていくため、6月20日まで、今一度ご理解とご協力を得ながら、道庁の総力をあげて取り組んでいかななくてはならない。 ○ ワクチン接種については、引き続き市町村の接種体制の支援について検討するとともに、道においても集団接種会場の設置、接種にご協力いただける歯科医師への実技研修について、関係団体と連携し、6月の早い時期での実施に向けて取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月2日（水） 14時40分～15時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染経路不明の割合や陽性率は改善しつつあり、新規感染者数は5月24日から減少が続いているが、いまだ高い水準が続いている。医療提供体制についても入院患者数や療養者数は高い水準であり、特に札幌市内においては、入院や入所の調整が困難となるなど、医療の限界とも言える状況が続いている。 ● 人流については、全道の主な地点で減少しているが、繁華街など一部では増加が見られる状況。（以上、総政） ○ 他県では、人流が増加傾向に転じた地域が出てきており、新規感染者数が下げ止まる可能性も専門家から指摘されている。道においても人流が増加している地域が見られており、もう一段しっかりと人流を押し下げていくことが必要。 ○ 特に、引き続き厳しい感染状況にある札幌市の取組が重要であり、札幌市との連携を一層強化して人流が増加しないよう取り組んでほしい。 ● 昨日、国より6月21日から職域単位でのワクチン接種を可能とする旨の通知があった。詳細な内容や手続など情報を収集し、市町村とも共有していきたい。 ● また、ワクチン接種を取り巻く情勢の変化に対応し、より速やかな接種体制を確保していくために、6月1日付けで新たに体制を整備した。（以上、保福） ● 明日から新千歳空港におけるモニタリング検査を北海道エアポート（株）の協力の下、国が実施する予定。（保福） ○ モニタリング検査実施の機会を活用し、道民の皆様、来道される方々に対する普及啓発を国と連携して取り組んでほしい。 ● ほっかいどう応援団会議の参加企業をはじめ、道外に拠点のある道内企業などに対し、来道の際の注意喚起について協力を働きかけており、引き続き、様々な機会を活用して協力を呼びかけていく。（総政） ○ デルタ株のスクリーニング検査については国の取扱いを注視しながら早急に準備を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月3日(木) 10時40分～11時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、健康安全局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議に報告することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況等の認識について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるというご意見をいただいている。その他、「住民に不安を与えることのないよう、市町村別の接種状況については慎重に取り扱うとともに、マスクや道民に対して丁寧な説明を行ってほしい」「医療のひっ迫が続く一方で、新規感染者数が減少傾向にあり、気の緩みが生じやすい状況であることから、再度対策の徹底をお願いしたい」といった意見や「ワクチン接種を加速してほしい」という意見を複数いただいている。 ● また、市町村等からも「ワクチン接種についての事前の情報提供をしっかりと行ってほしい」「ワクチンの供給計画の早期提供を望む」といった意見が寄せられており、こうしたご意見は今後の対策に活かしていく。(以上、総政) ● 高齢者向けワクチン接種の終了時期の見込みは、164市町村が7月末までに、15市町が8月中の終了を見込んでいる。重症化リスクの高い高齢者の方々に一日も早く接種を受けていただくため、市町村が行う集団接種に対する支援に加え、道における集団接種会場の設置について調整している。(保福) ○ 引き続き、市町村における課題の把握と必要な支援に取り組むとともに、集団接種会場の設置に向けた調整を加速し、職域接種など先を見据えた検討を進めてほしい。 ○ 6月20日まで緊急事態宣言が延長となったが、これからの取組が極めて重要。改めて道民の皆様にご協力をお願いし、危機感を緩めることなく、市町村や関係団体のご協力をいただきながら、対策の徹底に取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月9日（水） 14時05分～14時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、経済部長、財政局長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、健康安全局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道的に新規感染者は減少傾向が続いているが、本日までの直近1週間では10万人あたり26.6人と引き続き高い水準が続く。特に、札幌市では10万人あたり約45.1人と依然高い水準。 ● 人流の状況については、札幌駅、すすきの駅周辺は緊急事態宣言前との比較では減少しているが、足元では増加が続いており、注視が必要。また、小樽駅周辺では増加しており、警戒が必要な状況。 ● 医療提供体制については、自宅や宿泊療養を含めた療養者数は減少しているが、いまだ高い水準にあり、入院患者数についても高い水準が続いている。（以上、総政） ○ 人流が増加している地域もあり、リバウンドが強く懸念される。 ○ 改めて、緊急事態宣言が発出されていることを共有し、警戒を緩めることなく、できる限り外出を控える、特に週末の外出を控えることについて、ご理解ご協力をいただくことが必要。 ○ 市町村、関係団体の皆様のご協力をいただきながら、あらゆる機会を活用して、粘り強く働きかけるなど、対策の徹底に取り組むとともに、特に、厳しい感染状況が続く札幌市との連携を一層強化し、人流が増加しないよう取り組んでほしい。 ● デルタ株については、道所管分は6月4日から感染経路不明の陽性者の全ての検体について道衛生研究所でスクリーニング検査を実施しているが、今週中にPCR検査可能な道立保健所でのスクリーニング検査体制を整備する。（保福） ○ デルタ株について、これまで疑い事例は確認されていないが、引き続き、札幌市など保健所設置市とも連携を図り、検査体制を強化してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月10日(木) 11時05分～11時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、知事室長、コロナ監、経済部長、教育部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、健康安全局長、経済部次長 ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議に報告することとした。</p> <p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況等の認識について、有識者、専門家等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。その他、「感染者は減少傾向だが、遅れて重症化してくるので、継続してしっかり対策し、感染を減らすことが重要」「デルタ株の検査は人口の多い札幌市など保健所設置市での検査を強化するよう市と連携して取り組むことが必要」といった意見があった。 ● また、ワクチン接種関係で、ワクチン接種の更なる加速を求める意見や地域における接種体制の充実に向けた支援を求める意見が寄せられており、こうした意見については、今後の対策に活かしていく。(以上、総政) ○ 感染状況を慎重に見極めながら、21日以降の対応についても検討を進めてほしい。 <p>発言者及び主な発言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワクチン関係では、札幌圏において道医師会等の協力の下、今月19日から集団接種会場を設置する。来週14日から予約受付を開始する。 ● 職域接種についても国において受付が開始された、業界団体等の要請を踏まえ、ウェブ説明会により制度内容等の周知に取り組む。(以上、保福) ○ ワクチンの集団接種について、予約や接種に際しては混乱が生じることがないように、万全の準備を進めてほしい。 ○ 職域接種についても、団体、企業の関心が高い。対象となりうる団体、企業は全ての部局、振興局に関係する。横の連携を図りながら、スピード感を持って取り組んでほしい。 ○ 昨日、総理から11月中にも希望する国民全てに接種を終えたいとの表明があった。本日、私から全国知事会の場で国に情報提供などを求めることを発言したが、ワクチンの供給スケジュールや接種の考え方など、国からしっかり情報収集を行い、確実に接種を進められるよう、市町村の支援に万全を期してほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月15日(火) 17時30分～18時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の新規感染者数は減少が続いており、本日までの直近1週間で874人、人口10万人あたり16.5人となっている。札幌市についても減少傾向にあるが、10万人あたり29.4人と依然高い水準にある。 ● 医療提供体制については、全道の入院患者数は今月に入り徐々に減っているが、昨日時点で952人と依然として高い水準にあり、重症者数も34人となっている。特に札幌市内においては病床が満床に近く、引き続き危機的な状況にある。 ● 人流については、札幌駅周辺、すすきの駅周辺で増加傾向にあるが、最近はやや横ばいとなっている。道内の他地点においては、緊急事態宣言前と比較し、概ね減少しているが、増加傾向が見られる地点もあり、注視が必要である。 ● 札幌市とは、依然として厳しい感染状況を踏まえると、人と人の接触機会の低減に向けた強い対策に取り組む必要があるということで一致しており、その認識の下で今後の対応について協議を進めている。(以上、総政) ○ 現在の感染状況や医療提供体制を踏まえると、もう一段、新規感染者を減少させていかなければならないため、20日までの緊急事態宣言の期間中、市町村と連携し、しっかりと対策の徹底を図ってほしい。 ○ その上で、21日以降については、新規感染者の減少を確かなものとし、医療への負荷の低減に繋がるよう、適切な対応を検討し、国との協議を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月16日(水) 11時05分～11時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議に報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況等の認識について、有識者、専門家等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。その他、「高齢者施設の職員・入居者のワクチン接種が終了するまで厳しい措置の延長が必要」「指導に従わない飲食店には行かせないような呼びかけをしてはどうか」「ワクチンの職域接種を支援するとともに、定期的なPCR検査により早期発見と集団感染の未然防止に取り組むことを検討すべき」「ワクチンを打ったから大丈夫、ではないことをしっかり伝えてほしい」「札幌市は依然厳しい状況であり、21日以降もまん延防止等重点措置の適用が必要では」「医療機関への負担を減らすために外出自粛や飲食店等への対策を続けていくべき」といった意見があった。 ● また、市町村からは「札幌市での措置を継続し、対策の実効性を高めることが必要」「ワクチンの今後の入荷日程を速やかに周知していただきたい」といった意見をいただいております。こうした意見については今後の対策に活かしていく。(以上、総政) ○ 道内の新規感染者は改善が図られつつある一方、札幌市では国のステージIVを上回る厳しい状況が続いている。 ○ 緊急事態宣言の扱いについては、最終的には専門家の意見も踏まえ、政府対策本部において総合的に判断されるが、道内では地域によって状況が大きく異なっており、札幌市については強い対策に取り組む必要があるといった現在の状況について、私からも西村大臣に伝え、認識の共有を図ることとする。 ● ワクチン接種については、6月19日から札幌圏に道直営の集団接種会場を設置する。14日から予約を開始しており、第1週の予約状況は接種枠5,760件に対して1,312件の受付となっている。 ● また、6月8日から国において職域接種を希望する企業等からの受付を開始している。本日、経済団体等に対してWEB説明会を開催し、制度内容等を説明している。(以上、保福) ○ 国においては、11月までに希望する方への接種を終えたいとしている。引き続き、市町村へのきめ細かな支援を行いながら、道の集団接種会場の効果的な活用や職域接種への後押しなどをしっかりと進めて、ワクチン接種希望者が一日も早く接種を終えることができるよう万全の体制で臨んでほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月17日(木) 13時15分～13時55分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、北海道については6月21日から7月11日までまん延防止等重点措置を適用することが了承され、本日夕方にも政府対策本部で決定される予定。 ● 分科会に示された基本的対処方針案では、まん延防止等重点措置地域では飲食店の営業時間を20時までとする要請を行うとともに、一定の要件を満たした店舗において酒類を19時まで提供できることとされるなどの変更があった。 ● 全道一様ではない地域の感染状況に応じた対策が必要であり、他地域との往来が多い札幌市において感染拡大を抑えることが重要である。札幌市内における外出や往来の自粛、飲食店等の営業時間短縮、一定の要件を満たす店舗における19時までの酒類提供などの対策を札幌市と協議していく。 ● 札幌市以外の市町村については、札幌市と不要不急の外出自粛など感染防止対策や感染リスクを回避する行動の徹底を検討していく。(以上、総政) ● 札幌市内の飲食店等で時間短縮の要請に応じていただいた事業者の方々には、国の基準に従って支援金の支給を検討していく。(経済) ● 酒類の提供に関する取扱いについて、今後、国の通知等を踏まえた上で、より詳細な検討を進めていくこととしたいが、時間が遅くなる可能性がある。本日の夕方の時点の情報に基づいて整理した道の考え方について、市町村や有識者のご意見を伺っていくことも検討したい。(総政) ● 教育関係については、札幌市内では運動会や修学旅行などの学校行事は中止・延期・縮小、部活動は原則中止とし、全道・全国大会に繋がる活動に限定する。その他の市町村については部活動における感染対策の徹底などを要請していく。(教育) <ul style="list-style-type: none"> ○ 道内では既にアルファ株に置き換わったともされており、変異株の感染力の高さを踏まえると今後も予断を許さない状況は続く。 ○ 道内における感染の抑制を図り、医療への負荷を低減させていくため全道で感染防止行動の徹底を図っていかなくてはならない。 ○ 特に、札幌市においては、新規感染者数が依然として高い水準にあり、医療提供体制も厳しい状況にあることを踏まえ、人と人との接触を抑えるための強い対策を講じていくことが必要。

	<p>● ワクチンの職域接種について、道内の企業団体から昨日までで73件の申請があった。また、道の集団接種会場において、追加で協力依頼のあった北広島市と当別町を対象に追加する。また、予約枠が埋まらない場合はワクチンの有効活用のため潜在看護師や危機管理を担う警察職員などへの接種を行うこととする。(保福)</p> <p>○ 引き続き、職域接種を希望する企業や団体等に対する支援をしっかりと行ってほしい。また、市町村のワクチン接種の取組をしっかりとサポートし、希望者が1日も早く接種を終えることができるよう、これまで以上に積極的にスピード感を持って取り組んでほしい。</p> <p>(了)</p>
--	--

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月18日（金） 12時30分～12時50分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総政部長、保福部長、コロナ監、経済部長、 政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 道の考え方について、有識者や市町村等から「リバウンドが心配なので札幌市を重点措置区域にして往来を自粛することに賛成」「今後の再拡大の際の判断、対応を迅速に行うこと」など、概ね妥当であるとのご意見をいただいているが、「札幌市の感染者数の減少と全道への感染波及の防止に最大限注力していただきたい」「札幌市からの来訪者の増加が懸念される」といったご意見もいただいた。 ● こうしたご意見も踏まえ、これまで強い措置を講じてきた特定措置区域において、大きな再拡大防止に向けた対策を徹底するため、飲食店等の時短を段階的に緩和することとし、改めて考え方も有識者、市町村等にお示しするとともに、国と協議する。（以上、総政） ○ 石狩振興局管内市町村、小樽市、旭川市は感染状況が大きく改善している。段階的な緩和の考え方等について丁寧に説明し、検討を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月18日（金） 18時00分～18時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、コロナ監、経済部長、教育部長、財政局長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、健康安全局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道における緊急事態措置」について、本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 石狩振興局管内、小樽市、旭川市について、経過区域として、飲食店等の営業時間は21時まで、酒類の提供は20時までとすることについて説明し、ご理解をいただいた。（総政） ● 経過区域において要請に応じていただいた事業者の方々への支援金については、国の基準や他県の例などを参考に、中小企業等は1日あたり2.5～7.5万円、大企業は1日あたり最大20万円を支給する方向で検討している。 ● 札幌市内における飲食店等については、営業時間を20時まで、酒類の提供を19時までとするが、19時まで酒類提供ができる一定の要件として、国の示す原則4人以内、アクリル板の設置などのほか、道独自の要件として滞在は2時間以内とし、事業者にも大声での会話を避けるための注意喚起や従業員の体調確認などの要件を加えることで調整している。 ● また、札幌市内の大規模集客施設等については、国の基準や他県の例を参考に、20時までの営業時間短縮を要請する方向で検討している。（以上、経済） ● 道立施設の対応について、札幌市内の13施設は引き続き原則休館とし、札幌市以外は感染対策を徹底した上で、準備が整い次第、順次再開していきたい。（総務） <p>○ 緊急事態宣言の期間があと2日間ある。感染者数の減少を確実なものとするために、最後まで気を緩めることなく、対策の徹底に取り組んでほしい。</p> <p>○ また、21日以降も、市町村や関係団体の皆様と一層連携し、対策の目的や内容などについて丁寧な説明を行い、もう一段の感染の抑え込みに向けて、総力を挙げて取り組んでほしい。</p> <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）